

別添 1

こども家庭科学研究費補助金

(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)

標準的な生殖医療の知識啓発と情報提供のためのシステム構築に関する研究

令和 5 年度 総括・分担研究報告書

研究代表者 苛原 稔

令和 6 (2024) 年 5月

目 次

I. 総括研究報告

標準的な生殖医療の知識啓発と情報提供のためのシステム構築に関する研究 --1

苛原 稔

II. 分担研究報告

1. 生殖医療の一般向け情報提供資材に関する現状調査と新規作成 -----4

大須賀 穰

2. 標準的な生殖医療の知識啓発と情報提供のためのシステム構築に関する研究

—患者記録形式に関する検討（コンセプトノート）の作成）— -----7

高橋 俊文、福原 慎一郎、村上 貴美子

（資料）コンセプトノート

3. 不妊治療の情報提供に関する研究 -----13

森岡 久尚

（資料1）質問表

（資料2） Japanese version of Cardiff Fertility Knowledge Scale (CFKS-J)2

4. 不妊治療に関する一般向けの情報提供資材の作成と

標準的知識啓発システムの構築 -----29

岩佐 武

5. 本邦の配偶子、胚管理に関する関連4学会による統一提言作成 -----31

寺田 幸弘

（資料1）胚培養士業務実施率

III. 研究成果の刊行に関する一覧表 -----34

令和5年度こども家庭科学研究費補助金
(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)
総括研究報告書

標準的な生殖医療の知識啓発と情報提供のためのシステム構築に関する研究

研究代表者 苛原 稔 徳島大学 特命教授

(研究要旨) 令和5年度の研究事業では、本研究の最終年として、各分担者においては目的とする成果物の具体的作製およびその作成物についての治療現場の評価を調査した。その結果、不妊治療に関する一般向けの情報提供資料「患者さんのための生殖医療ガイドライン」、患者記録形式の冊子「コンセプトノート」が、医療者と患者にとって有益に活用できる成果物であるとの結論を得た。また、情報提供システムでは、特にホームページの立ち上げの準備を実施した。また、2回の班会議を開催して、それぞれの計画立案や進捗把握の情報を共有するとともに、各種学会・団体、厚生労働省、各自治体にも意見を求め、それらと意見交換等を密に行った。さらに、作年度からの新規研究項目として、「本邦の生殖医療に基づく配偶子や胚管理に関する提言」を作成し、関連4団体（日本産科婦人科学会、日本生殖医学会、日本卵子学会および日本臨床エンブリオロジスト学会）の了承を得て行政に答申した。

A.研究目的

日本は世界有数の不妊治療大国で世界最高峰の医療レベルに達しているが、臨床現場をみると、まだ患者が適切な治療を享受できていない場合も頻発している。不妊治療の発展の成果を広く国民に享受してもらうためには、発展に即した正しい知識を患者に適切、かつ全国あまねく行き届かせること、加えて不妊治療に関して患者の立場に立った情報提供が必要である。そこで本研究では、①不妊治療の最新かつ正確な知識啓発と情報提供が円滑にできるシステムを構築し、②そのための適切な資料を作成し、③患者側と医療施設が共有して治療に

生かせる記録形態を確立し、結果として不妊治療の適切な展開に寄与し医療行政に貢献することを目的とした。

B.研究方法

令和5年度の研究事業では、研究の最終年として、各分担者においては第1～2年度に作成した成果物についての各種団体へのアンケート結果や意見交換に基づいて、目的とした成果物作成の完成を行った。そのため、2回の班会議を開催して、それぞれの計画立案や進捗把握の情報を共有した。なお、事業の進捗に関して、苛原が中心となって、日本産科婦人科学会、日本泌尿器科学

会、日本生殖医学会、日本受精着床学会、日本がん生殖学会、日本生殖医療標準化機構（JISART）、不妊患者団体、遺伝関係の学会・団体、厚生労働省、各自治体との意見交換等を行った。また、昨年度からの研究項目として、本邦の生殖医療に基づく配偶子や胚管理に関する提言を行うこととなり、「本邦の配偶子、胚管理に関する関連 4 学会による統一提言」を作成した。

①一般向けの情報提供資料の作成

大須賀を中心に作成した「患者さんのための生殖医療ガイドライン」を不妊治療に関する一般向けの情報提供資料とする不妊治療に関する各学会・団体に送付し、内容などに関するアンケート調査を行い、意見を集約して改訂した。また、今後作成した資料をどのように不妊治療の場で有効活用していくかを検討した。

②不妊患者記録形式の検討

高橋、福原、村上を中心に、令和 5 年度では、令和 4 年度に本研究班で作成した患者記録形式の冊子（以下、コンセプトノート）が、医療者と患者にとって有益に活用できるかどうか検討を行った。

③不妊治療の情報提供に関する研究

不妊治療の情報提供について若年女性を対象として、インターネットの活用により、不妊に関する正確な情報を得ることができているのか調査した。

④生殖医療の知識啓発と情報提供システムの構築

苛原、岩佐を中心に、既存の説明資料の使用状況と、実際に使用した患者からの意見を収集することで、適切な説明資料のあり方、さらに使いやすい情報提供システムについて検証した。

⑤本邦の配偶子・胚管理の在り方の提案

寺田を中心に、本邦の生殖医療に基づく配偶子や胚管理に関する提言を行うこととなり、本邦の配偶子、胚管理、また胚培養士に関する統一提言を作成した。

C.研究結果

①一般向けの情報提供資料の作成

大須賀を中心に、日本生殖医学会の「生殖医療ガイドライン」と「不育症管理に関する提言 2021」の内容に基づき一般向けの情報提供資料を「患者さんのための生殖医療ガイドライン」を作成した。作成した資料を不妊治療に関する各学会・団体に送付し、内容概ね「患者の自己学習用として」「外来・カウンセリング時の補助資料として」有効に活用できそうという肯定的な意見多を得た。

②不妊患者記録形式の検討

高橋、福原、村上を中心に、コンセプトノートの試験運用を 2023 年 1 月から同年 9 月 30 日まで、7 つの施設で行った。試験運用実施後、医療者と患者へアンケート調査を実施、改善点を抽出した。その後、関連学会・団体等へのヒアリング調査を実施した。これらの意見を踏まえ、修正版のコンセプトノートを作成した。

③不妊治療の情報提供に関する研究

アンケート調査の結果、性教育や妊娠・出産経験者との交流に加えて、インターネットの利活用は妊娠・出産の正しい知識を得るための重要なツールであることが示唆された。また、妊娠・出産に関して、男性不妊、女性の栄養、性感染症の知識の一層の普及が必要であることが示唆された。

④生殖医療の知識啓発と情報提供システムの構築

苛原と岩佐を中心に、多様な患者説明資料の在り方の検討を行った。不妊治療の最新

かつ正確な知識啓発と情報提供が円滑にできるシステムとして、紙ベース、インターネット配信、動画配信などを想定し、まず、不妊治療に関する基本的な患者啓発資材の紙ベースのモデル資材を作成した。次に、それらをインターネット配信および動画化したが、概ね医療提供者や患者の両方から肯定的な意見を得た。

⑤本邦の配偶子・胚管理の在り方の提案

寺田を中心に、本邦の生殖医療に基づく配偶子や胚管理、胚培養士に関する提言を作成し、関連4学会での検討も良好であったので、行政にも答申を行った。

D.考察

本年度は、本研究の最終年として、総括分担者および各分担研究者とも、令和3～4年度の検討により計画した成果物の案を基に具体的な成果を得るため事業のまとめとして様々な検討を行った。また、必要な各種学会・団体との意見交換等が実施された。その結果、概ね計画していた成果をあげることができた。

E.結論

令和5年度は本研究の最終年として、事業を行い、以下の結論を得た。

1. 不妊治療の最新かつ正確な知識啓発と情報提供が迅速円滑にできるシステムとして紙媒体とともにITを利用したシステム構築が有用であると判断された。
2. 患者の啓発のための適切な資材として「患者さんのための生殖医療ガイドライン」を作成し、概ね肯定的な意見を得た。
3. 患者側と医療施設が共有して治療に生かせる記録形態として「コンセプトノ

ート」を作成し、医療関係者や患者から概ね肯定的な意見を得た。

4. 実臨床の現場でARTにおける胚培養、胚保管、そして胚培養士に関連する統一的な提言を作成し、関連4学会及び行政サイドに答申した。

F.健康危険情報

無し

G.研究発表

1. 論文発表 該当なし
2. 学会発表等 なし

H.知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

1. 特許取得 該当なし
2. 実用新案登録 該当なし
- 3.その他 該当なし

G.知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

特になし

令和5年度こども家庭科学研究費補助金
(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)
分担研究報告書

生殖医療の一般向け情報提供資材に関する現状調査と新規作成

研究分担者 大須賀 穰 東京大学・医学部附属病院・教授

(研究要旨) 不妊治療に関する一般向け情報提供資材の作成

A. 研究目的

不妊治療の標準化を図るために、責任あるが機関が適切な知識啓発と情報提供に必要な情報資材を作成する。

B. 研究方法

現存の不妊治療の情報資材を調査する。また日本生殖医学会発刊の「生殖医療ガイドライン」に則した内容かつ一般向けに平易な言葉や図を用いて分かりやすくした情報資材を作成する。

C. 研究結果

不妊治療に関する一般向けの情報提供資材として、日本生殖医学会発刊の「生殖医療ガイドライン」に則した内容かつ一般向けに平易な言葉や図を用いて分かりやすくした「患者さんのための生殖医療ガイドライン」を作成した。作成した資材を不妊治療に関係する各学会・団体に送付し、内容などに関するアンケート調査を行い、意見を集計した。今後、作成した資材をどのように不妊治療の場で有効活用していくかを検討した。

D. 考察

「生殖医療ガイドライン」に則した「患者さんのための生殖医療ガイドライン」はアンケート結果により患者への説明などで有効活用されることが期待される。医療や不妊治療は日々進歩しているものであり、今後内容を改訂していく作業が課題と考えられる。

E. 結論

不妊治療の現場の治療指針であるガイドラインの内容に則した一般の方向けに作成した情報資材は他にはなく、外来での説明やカウンセリングの補助資材として活用することで、より多くの国民の方の不妊治療への理解が深まり、少子化対策への一助となると考えられる。

G. 研究発表

1. 論文発表

1. Takeshige Y, Jwa SC, Hirota Y, Osuga Y, Kuramoto T, Mio Y, Furui K, Kinutani M, Shiotani M, Asada Y, Kamiya H, Yoshida H, Igarashi H, Kyono K. Clinical outcomes of personalized blastocyst embryo transfer after endometrial receptivity analysis: A multicenter, retrospective cohort study. *Reprod Med Biol*. 2023 Nov
2. Katagiri Y, Jwa SC, Kuwahara A, Iwasa T, On M, Kato K, Kishi H, Kuwabara Y, Taniguchi F, Harada M, Iwase A, Osuga Y. Assisted reproductive technology in Japan: A summary report for 2021 by the Ethics Committee of the Japan

- Society of Obstetrics and Gynecology. *Reprod Med Biol.* 2023 Dec 30;23(1)
3. Fukui Y, Hirota Y, Aikawa S, Sakashita A, Shimizu-Hirota R, Takeda N, Ishizawa C, Iida R, Kaku T, Hirata T, Hiraoka T, Akaeda S, Matsuo M, Osuga Y. The EZH2-PRC2-H3K27me3 axis governs the endometrial cell cycle and differentiation for blastocyst invasion. *Cell Death Dis.* 2023 May 18;14(5):320.
 4. Hiraoka T, Osuga Y, Hirota Y. Current perspectives on endometrial receptivity: A comprehensive overview of etiology and treatment. *J Obstet Gynaecol Res.* 2023 Oct;49(10):2397-2409.
 5. Mitake S, Wada-Hiraike O, Kashiwabara K, Nakamura A, Nasu R, Hine M, Matsuyama Y, Fujii T, Osuga Y. Distribution of the follicular and luteal phase lengths and their age-dependent changes in Japanese women: A large population study. *Reprod Med Biol.* 2023 May 12;22(1)
 6. Harada S, Yamada M, Shirasawa H, Jwa SC, Kuroda K, Harada M, Osuga Y. Fact-finding survey on assisted reproductive technology in Japan. *J Obstet Gynaecol Res.* 2023 Nov;49(11):2593-2601.
 7. Hosoya S, Piedvache A, Nakamura A, Nasu R, Hine M, Itoi S, Yokomizo R, Umezawa A, Hiraike O, Koga K, Osuga Y, Narumi S, Morisaki N. Prolongation of the Menstrual Cycle After Receipt of the Primary Series and Booster Doses of mRNA Coronavirus Disease 2019 (COVID-19) Vaccination. *Obstet Gynecol.* 2024 Feb 1;143(2):284-293.
 8. Nose-Ogura S, Yoshino O, Kamoto-Nakamura H, Kanatani M, Harada M, Hiraike O, Saito S, Fujii T, Osuga Y. Age and menstrual cycle may be important in establishing pregnancy in female athletes after retirement from competition. *Phys Sportsmed.* 2024 Apr;52(2):175-180.
 9. Chiba Y, Nose-Ogura S, Sekiguchi K, Eda K, Nakamura H, Koshimizu T, Yamamoto H, Yamaguchi T, Harada M, Wada-Hiraike O, Osuga Y. Development of University of Tokyo's eating disorders inventory in female athletes. *J Obstet Gynaecol Res.* 2023 Jul;49(7):1854-1866.
 10. Ono M, Harada M, Horie A, Dai Y, Horiguchi I, Kikuchi E, Kimura F, Koizumi T, Komeya M, Mizunuma N, Oseto K, Ota K, Shimizu C, Sugimoto K, Takae S, Takeuchi E, Nishi H, Yumura Y, Furui T, Takai Y, Morishige KI, Watanabe C, Osuga Y, Suzuki N. Effect of a web-based fertility preservation training program for medical professionals in Japan. *Int J Clin Oncol.* 2023 Sep;28(9):1112-1120.
 11. Hiratsuka D, Omura E, Ishizawa C, Iida R, Fukui Y, Hiraoka T, Akaeda

- S,Matsuo M, Harada M, Wada-Hiraike O, Osuga Y, Hirota Y. Pregnancy is associated with reduced progression of symptomatic adenomyosis: a retrospective pilot study. BMC Pregnancy Childbirth. 2023 Sep 4;23(1):634.
12. Urata Y, Salehi R, Wyse BA, Jahangiri S, Librach CL, Tzeng CR, Osuga Y, Tsang B. Neuropeptide Y directly reduced apoptosis of granulosa cells, and the expression of NPY and its receptors in PCOS subjects. J Ovarian Res. 2023 Aug 31;16(1):182.
 13. Tsukahara Y, Nose-Ogura S, Kinoshita S, Nakamura H, Koshimizu T, Gleason CN, Mason RA, Harada M, Hiraike O, Osuga Y. Differences in screening and treating relative energy deficiency in sport between the United States of America and Japan. J Sports Med Phys Fitness. 2024 Feb;64(2):175-182.
 14. Takae S, Harada M, Nakamura K, Furuyama S, Ono M, Osuga Y, Suzuki N. Survey on the implementation status and reproductive outcomes of oocyte and ovarian tissue cryopreservation in Japan: Historical comparison with nationwide surveys. J Obstet Gynaecol Res. 2024 Jan 23.
 15. Kawai T, Harada M, Yamada K, Ugomori R, Osuga Y. The prevalence of vulvovaginal symptoms in Japanese women of reproductive and perimenopausal ages: A cross-sectional study across generations. J Obstet Gynaecol Res. 2024 Mar 4.
 16. Sayama S, Iriyama T, Hashimoto A, Suzuki K, Ariyoshi Y, Yano E, Toshimitsu M, Ichinose M, Seyama T, Sone K, Kumasawa K, Hirota Y, Osuga Y. Possible risks and benefits of adenomyomectomy on pregnancy outcomes: a retrospective analysis. AJOG Glob Rep. 2023 Sep
 17. 吉野修, 小野洋輔, 大須賀穰. 【生殖内分泌学と生殖免疫学の接点】卵胞発育・排卵. HORMONE FRONTIER IN GYNECOLOGY. 30 巻 3 号 Page183-187 (2023.09).
 18. 杉浦真弓, 大須賀穰, 山本圭子, 金子佳代子. 【プレコンセプションケア】プレコンセプションケアの目指すことと現状と課題. 日本医師会雑誌(0021-4493)152 巻 6 号 Page593-603 (2023.09)
 19. 大須賀穰. 【不妊治療の保険適用に関して】不妊治療の保険適用への困難な道のりを乗り越えて. 日本産科婦人科学会雑誌 (0300-9165)75 巻 3 号 Page386-391 (2023.03).
 20. 能瀬さやか, 原田美由紀, 大須賀穰. 【保険適用になった不妊治療-できること・できないこと-】実際の運用と影響と課題 不妊診療保険適用の影響と課題. 産科と婦人科. 90 巻 4 号 Page333-337 (2023.04)
- H. 知的財産権の出願・登録状況
無し

令和5年度こども家庭科学研究費補助金
(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)
分担研究報告書

標準的な生殖医療の知識啓発と情報提供のためのシステム構築に関する研究
—患者記録形式に関する検討（コンセプションノートの作成）—

研究分担者 高橋 俊文 福島県立医科大学 教授
福原 慎一郎 大阪大学・大学院医学系研究科 准教授
村上 貴美子 蔵本ウイメンズクリニック 看護部 副院長

(研究要旨) 生殖医療における医療者と患者間で検査・治療に関する情報を共有することが可能な患者記録形式の検討を行った。この患者記録形式は、産婦人科的観点、泌尿器科的観点、看護・コメディカルの観点から検討し作成を行い、冊子体はコンセプションノートと命名された。令和5年度は、コンセプションノートの試験運用と関連学会・団体等へのヒアリング調査を経て、最終版「コンセプションノートー不妊治療におけるカップルの検査や治療の記録ー」を完成させた。

A. 研究目的

2022年から人工授精および体外受精・胚移植などの生殖補助医療（assisted reproductive technology, ART）が保険適用となり、不妊治療を受けるカップルの増加が予想される。

ART施設では様々な不妊症の検査・治療が実施され、その中には保険適用外の検査・治療も含まれている。保険適用を機に、不妊症の検査・治療に関する標準化が急務である。

患者は自身の治療に合った医療機関に移動することがある。その場合、前医で行った検査・治療の情報を患者自身で記録しておくことが必要となる。

前医での検査・治療内容を有効に活用す

れば、重複した検査や治療を省略でき、患者および医療側の負担の軽減のみならず、医療費の抑制につながる。

本研究の目的は、患者と医療側が情報を共有可能な患者記録形式を作成することである。令和5年度では、令和4年度に本研究班で作成した患者記録形式の冊子（以下、コンセプションノート）が、医療者と患者にとって有益に活用できるかどうか検討を行った。

B. 研究方法

1. コンセプションノートの試験運用

試験運用期間：2023年6月1日から2023年9月30日。研究協力施設：日本生殖補助医療標準化機関（Japanese institution for

standardizing assisted reproductive technology, JISART) に所属する 5 施設と研究分担者の在籍する 2 施設を研究協力施設とした (表 1)。

表 1. 研究協力施設

<JISART 所属施設>

神谷レディースクリニック(北海道)、HORAC グランフロント大阪クリニック(大阪)、ミオ・ファティリティ・クリニック(鳥取)、アイブイエフ詠田クリニック(福岡)、ART 女性クリニック(熊本)

<研究分担者施設>

大阪大学医学部附属病院(大阪)、蔵本ウイメンズクリニック(福岡)

方法：各施設に 10 症例ずつ、合計 70 症例に対してコンセプションノートの試験運用を実施した。10 症例の内訳は、一般不妊治療、ART の患者で、その中には男性不妊および不育症患者も含めた。

医療者は、患者が主体的にコンセプションノートに記載できるよう指導。試験運用終了後、医療者と患者に使用感についてアンケートを行った。また、コンセプションノートは回収し、記載状況を確認した。

2. コンセプションノートに関する関連学会・団体等へのヒアリング調査

調査期間：2023 年 10 月 1 日から 2023 年 11 月 30 日。対象：関連学会・団体等(表 2)。方法：関連学会・団体等へコンセプションノートを送付し、コンセプションノートの内容に関する意見を回収した。

表 2. ヒアリング対象の関連学会・団体 <関連学会>

日本産科婦人科学会、日本産婦人科医会、日本生殖医学会、日本受精着床学会、日本 IVF 学会、日本泌尿器学会、日本生殖看護学会、日本不妊カウンセリング学会、日本生殖心理学会

<関連団体>

子ども家庭庁成育局母子保健課、JISART、特定非営利活動法人 Fine

<その他>

男性不妊 special interest group (日本生殖医学会)、中山産婦人科、恵愛レディースクリニック

3. コンセプションノートの修正および最終版の完成

C. 研究結果

1. コンセプションノートの試験運用

1) 医療者側からのアンケート結果

表 3 に研究協力施設の不妊治療に関する特性を示した。アンケート回収率は 100% (7/7 施設) であった。

表 3. 研究協力施設の特性

施設	患者数(人)	ART の割合 (%)	採卵(件/年)	胚移植(件/年)
A	170	50	1,414	1,307
B	20	75	143	169
C	71	67	712	1,004
D	120	60	1,838	2,039
E	70	80	1,007	1,494
F	76	73	705	907
G	205	40	2,222	2,211

(1) コンセプションノートの必要・妥当性：「コンセプションノートが必要かどうか」の問いには、86% (6/7) の施設が必要と回答、「記録内容が妥当であるか」の問いには、86% (6/7) が妥当と回答した。

(2) 患者主体の記録方法について：「患者主体の記録について妥当であるか」の問いには100% (7/7) が妥当であると回答したが、「治療計画書や胚移植などの医療機関が記載するページについてはどうか」の問いには、43% (3/7) が負担になると回答した。

(3) コンセプションノートの効果に関して：「患者の検査や治療内容を1冊で確認できるかどうか」の問いには、100% (7/7) がそう思うと回答。「施設を横断する際に有益かどうか」の問いには、86% (6/7) がそう思うと回答。「患者が主体的に記録することで検査や治療の理解が深まるかどうか」の問いには、86% (6/7) がそう思うと回答。「転院の際の検査や治療の患者の不安や負担が軽減するかどうか」の問いには、71% (5/7) がそう思うと回答。「分娩施設に検査・治療の情報が伝えられるかどうか」の問いには、71% (5/7) がそう思うと回答。「保険適用の回数などが明確となる」かどうかの問いには、57% (4/7) がそう思うと回答、「医療施設側での記入や指導は大変だったかどうか」の問いには、43% (3/7) がそう思うと回答。

2) 患者側からのアンケート結果

表4にコンセプションノートの試験運用に参加した患者の背景を示した。

表4. 試験運用に参加した患者の背景

女性年齢 (歳)	34.3±4.2
----------	----------

男性年齢 (歳)	35.7±5.1
不妊治療期間 (年)	1.6±1.2
タイミング療法 (回数)	3.6±4.9
人工受精 (回数)	2.1±4.8
採卵 (回数)	1.4±1.7
胚移植 (回数)	1.3±2.5

アンケートの回収率は59% (41人/70人)であった

(1) コンセプションノートの必要・妥当性：「コンセプションノートが必要かどうか」の問いには、98% (40/41) が必要と回答、「記録内容が妥当であるか」の問いには、88% (36/41) が妥当と回答した。

(2) 患者主体の記録方法について：「患者主体の記録について妥当であるか」の問いには、76% (31/41) が妥当であると回答、「治療計画書や胚移植などの医療機関が記載するページについてはどうか」の問いには、100% (41/41) が必要であると回答した。

(3) コンセプションノートの効果に関して：「患者の検査や治療内容を1冊で確認できるかどうか」の問いには、83% (34/41) がそう思うと回答。「施設を横断する際に有益かどうか」の問いには、83% (34/41) がそう思うと回答。「患者が主体的に記録することで検査や治療の理解が深まるかどうか」の問いには、42% (18/41) がそう思うと回答。「転院の際の検査や治療の患者の不安や負担が軽減するかどうか」の問いには、42% (18/41) がそう思うと回答。「保険適用の回数などが明確となる」かどうかの問いには、44% (18/41) がそう思うと回答。

2. コンセプションノートに関する関連学会・団体等へのヒアリング調査

コンセプションノートに関する関連学会

や団体等からの意見は、2 学会、1 団体、2 関連施設から回答を得た。意見の内容を表 5 に示した。

表 5. コンセプションノートに関する関連学会・団体等からの意見

- | | |
|-----------------------|---|
| メ
リ
ッ
ト | ① 便利なノートで医師が確認するにも夫婦の情報が一括でわかる |
| | ② 不妊治療を広く網羅しており素晴らしい |
| | ③ 全体像が患者にわかりやすい |
| | ④ コンパクトに必要な事項がまとまっている |
| | ⑤ 医療機関側も 1 冊にまとまっているので把握しやすい |
| | ⑥ 複数機関で治療を受ける際に有益 |
| | ⑦ 不妊治療の現場で役に立つが、一方で運用方法の検討が必要 |
| デ
メ
リ
ッ
ト | ① 紙媒体は業務の効率化にならない |
| | ② 記入の手間が増える、患者さんに一つずつ書き方を教える必要がある |
| | ③ 記載ミスがあった場合に誰が責任を持つのか、医師や看護師が記載するのでは負担が大きすぎる |
| 男
女
共
通 | ① おたふく風邪の既往の追加記載の要望 |
| | ② 染色体検査の表記方法の検討 (46, XX・46, XY だけが正常ではない) |
| 女
性 | ① D2 等の表記に D6 も追加 |
| | ② 腹腔鏡/子宮鏡/卵管鏡の記載欄の要 |
| | ③ 甲状腺ホルモン、子宮内膜炎、腹腔鏡、培養液の種類、反復不 |

成功例の PGT-A 等の記載欄の要

- | | |
|------------------|--|
| 男
性 | ① 男性の健康状態、内服薬、TESE の記載欄に病理結果 (Johnsen's Score) の記載欄の要望 |
| | ② パートナーの箇所に運動習慣、AGA 治療薬、ED 治療薬、逆行性射精の治療歴の記載欄の要望 |
| 記
載
方
法 | ① 医療機関記載欄と患者記載欄の標記内容の統一 |
| | ② アロマターゼ阻害剤→アロマターゼ阻害薬等の適正用語の使用 |
| | ③ ホルモンの基準値は施設によって異なるので記載は必要か |
| そ
の
他 | ① カップル用に作成されているが、私とパートナーと言う表現に違和感あり (女性が主体の治療の様だ) |
| | ② 不妊治療情報は電子媒体フォームに医療機関が記入し、マイナンバーカードを利用して情報共有すべき |

3. コンセプションノートの修正および最終版の完成

コンセプションノートの試験運用と関連学会・団体等からの意見を踏まえ、以下の点を修正した。

(1) 表記に関する修正・追加：妻とパートナーという表現は女性が主体にならないように妻→女性、パートナー→男性とした。追加記載の要望が多かった、風しん・ムンプスの既往、不妊治療以外の入院・手術歴を追加した。女性は子宮鏡・FT・腹腔鏡、甲状腺ホルモンの記録、男性は AGA 治療薬や ED 治療薬の使用、染色体検査の記載方法の変更、不育症は主な検査名を明記) ホルモン検査の

基準値は検査会社により異なるため削除した。先進医療のページは変更になることも考慮し、受けた先進医療名は自分で書き込めるようにした。不妊相談センターは「性と健康の相談センター」に変更した。

(2) その他：医療機関記載ページは医療者の負担を軽減するため、患者が記載できるように変更し、医師からの説明を書き留めておけるよう自由記載欄を増やした。専門用語の難易性や知識啓発については同研究班作成の「患者さんのための生殖医療ガイドライン」とリンクし、必要な箇所には汎用される薬剤メモを掲載した。

D. 考察

令和5年度の研究では、不妊治療における検査・治療に関する、医療者と患者の共通記録媒体「コンセプトノートー不妊治療におけるカップルの検査や治療の記録ー」として完成させた。この冊子は、増加する不妊治療患者の検査・治療の効率化に寄与することが期待される。

コンセプトノートの試験運用後のアンケート調査では、コンセプトノートの必要性和妥当性に関して概ね好意的な結果が得られた。当初、医療者の記載するパートを義務づけたため、医療者からは負担とを感じる意見もあった。そのため、最終版のコンセプトノートでは、原則として、患者が記載するものとした。今回の患者へのアンケート結果では、「患者が主体的に記録することで検査や治療の理解が深まるかどうか」の問いに対して42%がそう思うと回答した。この結果は、我々が想定したものより低かった。その理由として、不妊症の検査、治療が高度化しており、患者教育が追いついていない現状があると考えられた。今後、

コンセプトノートを利用することで、治療をより理解し受ける事につながる効果を期待したい。

関連学会、団体等へのヒアリング調査は、回答率が33% (5/15) と低かった。また、実際の試験運用と異なり、コンセプトノートの記載内容を中心とした意見が多いという特徴があった。すなわち、学術的な文言の修正や検査の種類追加などが意見として多かった。今回のヒアリング調査では、患者側の団体は、特定非営利活動法人 Fine の一団体であった。このような記録媒体を作成する場合には、初期の段階から、患者側の意見を取り入れて作成する必要があると考える。

コンセプトノートの利用により、以下の可能性が期待される。①医療者と患者の共通した記録媒体となること、②転院の際、重複した検査や治療を省略するメリットがあること、③検査・治療への理解を深め、カップルが自分らしい検査・治療を選択するためのツールとなること、④分娩施設への治療の情報がつながり、不妊治療 (ART 含む) で出生した児の将来的なリスクの分析が可能となること。

コンセプトノートは紙媒体であるが、これは、母子手帳が現在も紙媒体で活用されていることを参考とした。日本の母子健康手帳を海外50か国の地域に広げた日本 WHO 協会理事長の中村安秀氏によると海外では紙媒体とアプリの両方が利用可能となっているとのことである。時代の趨勢として、アプリ版の方が現代のカップルには馴染み深く利用しやすいと思われるが、中村氏の意見からは、「アプリは便利だが災害時のシステムダウンの際

は利用できず、スマホを持っている本人しか見れない。スマホが変わると継続性が保てない場合もある。一方で、紙媒体は災害時にも有効で、後から思い出のようにパートナーや子供など家族が見ることができる利点もある。そのため、紙とアプリの両方必要だと思う」とのことだった。

今後は、臨床でのコンセプトノート
の活用法と紙媒体とアプリ版の両方が活用できるように、アプリ版の作成も今後の課題と考える。アプリ版にすることで、行政の治療データの収集への寄与や少子化対策など政策の立案に貢献できる可能性も広がる。

E. 結論

本研究で完成させたコンセプトノートは、不妊や不育のカップルの検査・治療の記録として、これまでの経過や概略をつかむ臨床で有用なツールとなる。今後、不妊や不育の検査・治療を受ける全てのカップルにこの手帳が供給されることが望まれる。

G. 研究発表

無し

H. 知的財産権の出願・登録状況

無し

不妊治療におけるカップルの検査や治療の記録

CONCEPTION NOTE

——— コンセプションノート ———

令和5年度 こども家庭科学研究費補助金（旧 厚生労働科学研究費）
成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業（健やか次世代育成総合研究事業）

課題番号 21DA1003

「標準的な生殖医療の知識啓発と情報提供のためのシステム構築に関する研究」

— 患者記録形式の検討 —

目次

はじめに	2
患者さんのための生殖医療ガイドライン	3
妊娠を希望するカップル	4

女性の健康状態・検査・治療

基本情報

治療を受ける女性の健康状態等	6
----------------	---

検査の記録

女性の検査の記録	9
----------	---

一般不妊治療

一般不妊治療計画	16
----------	----

タイミング療法の記録	20
------------	----

人工授精の記録	24
---------	----

生殖補助医療 (ART)

生殖補助医療 (ART) 治療計画	30
-------------------	----

採卵の記録	38
-------	----

先進医療	42
------	----

胚移植の記録	44
--------	----

男性の健康状態・検査・治療

治療を受ける男性の健康状態等	54
----------------	----

男性の検査の記録	57
----------	----

男性の治療の記録	62
----------	----

不育症

流産の記録	66
-------	----

不育症検査の記録	67
----------	----

不育症治療の記録	70
----------	----

はじめに

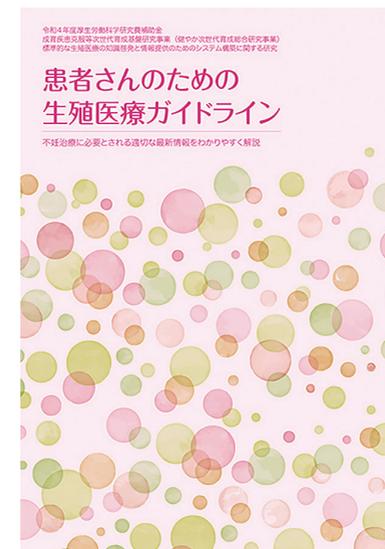
- Conception（コンセプション）とは妊娠や受胎という意味です。
- CONCEPTION NOTE（コンセプション ノート）は全国共通で不妊治療や生殖補助医療を受けるカップルと医療側が情報を共有するためのものです。このノートに丁寧に記録をすることで、無駄な検査や治療を省くことができます。また転院や転勤の際など、施設間を横断する場合でも、あなたの受けた検査や治療の記録があることで、効率的な治療を受けることができます。
- ご自身の受ける治療を理解することは大切なことです。本ノートは、医師や看護師、性と健康の相談センターの相談員の方に適宜指導を受け、ご自身でできる限り記載をしておきましょう。

不妊治療をはじめる前に

- 検査や治療を始める前に、カップルで不妊治療や生殖補助医療について、どこまでの治療をいつまで受けるのかなど、よく話し合ひましょう。
- 検査や治療はカップルで協力して進めましょう。
- 知識を得るためには、「患者さんのための生殖医療ガイドライン」に不妊治療で必要とされる適切な最新情報がわかりやすく書かれており、今後の検査や治療の参考になります。
- 不安なことや疑問点、ストレスなど一人で悩まず、いつでも医療機関や性と健康の相談センターに相談しましょう。

患者さんのための生殖医療ガイドライン

不妊症についての一般的な基礎知識、検査、治療を中心に、体外受精・胚移植、先進医療、男性不妊、不育症についてもわかりやすく解説しています。治療の内容を理解するためにご活用ください。



患者さんのための生殖医療ガイドライン

<https://www.gynecology-htu.jp/reproduction>

※右記二次元バーコードからもアクセスできます



2022年4月に不妊症診療の保険適用が大きく拡大されました。この保険適用は、一般社団法人日本生殖医学会が作成した「生殖医療ガイドライン」に沿って整備されました。

「生殖医療ガイドライン」は、最善の不妊症診療を行うために現在の検査・治療に関する評価を行って作成されましたが、記載内容は不妊症の診療を行う医師等の専門家向けとなっています。この専門家向けの「生殖医療ガイドライン」の内容を患者さんにもわかりやすく伝えるため、令和4年度厚生労働科学研究費補助金・成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業（健やか次世代育成総合研究事業）「標準的な生殖医療の知識啓発と情報提供のためのシステム構築に関する研究」の一環として作成されました。専門用語やわからない内容等があれば、二次元バーコードからアクセスし、ぜひご活用ください。

妊娠を希望するカップル

※生殖補助医療（ART）が保険で受けられるのは43歳未満です。

この欄は手帳を受け取ったらすぐに自分で記入しておきましょう

治療を受ける女性	ふりがな 氏名	生年月日(西暦)	年 月 日
住所	〒 -		
電話番号 <small>(緊急時に連絡がとれる番号)</small>	- -		
職業 <small>(できるだけ具体的に)</small>			
就労環境 <small>(できるだけ具体的に)</small>	<ul style="list-style-type: none"> ● 1日約 時間勤務 (時 ~ 時) ● 交代制などの変則的な勤務 あり・なし ● 休日 () 		

治療を受ける男性	ふりがな 氏名	生年月日(西暦)	年 月 日
住所 <small>(妻と住所が異なる場合は記入)</small>	〒 -		
電話番号 <small>(緊急時に連絡がとれる番号)</small>	- -		
職業 <small>(できるだけ具体的に)</small>			
就労環境 <small>(できるだけ具体的に)</small>	<ul style="list-style-type: none"> ● 1日約 時間勤務 (時 ~ 時) ● 交代制などの変則的な勤務 あり・なし ● 休日 () 		

※いずれかにを入れてください。

婚姻関係	<input type="checkbox"/> 法的な婚姻関係にある <input type="checkbox"/> 事実婚で、出生した子の認知を行う意向がある <input type="checkbox"/> その他 ()
------	---

女性の健康状態・検査・治療

治療を受ける女性の健康状態等

医療機関を受診するまでに、ご自身で記入しておきましょう

身長	cm	心だんの体重	kg	結婚年齢	歳
BMI	BMI (体格指数) = 体重 (kg) ÷ 身長 (m) ÷ 身長 (m)				

●次の病気にかかったことはありますか。

あるものに○をつけ現在の治療や内服薬などがあれば記入しておきましょう。

該当に○	病名	発症や治癒の年月日	治療内容・使用薬剤
	高血圧	発症 年 月 日 治癒 年 月 日	
	糖尿病	発症 年 月 日 治癒 年 月 日	
	慢性腎炎	発症 年 月 日 治癒 年 月 日	
	肝炎	発症 年 月 日 治癒 年 月 日	
	心臓病	発症 年 月 日 治癒 年 月 日	
	甲状腺の病気	発症 年 月 日 治癒 年 月 日	
	喘息	発症 年 月 日 治癒 年 月 日	
	精神疾患 (心の病気)	発症 年 月 日 治癒 年 月 日	
	その他病名	発症 年 月 日 治癒 年 月 日	
	その他病名	発症 年 月 日 治癒 年 月 日	
	その他病名	発症 年 月 日 治癒 年 月 日	
	その他病名	発症 年 月 日 治癒 年 月 日	
	風しん	罹患 年 (歳)	
	麻疹	罹患 年 (歳)	
	おたふく風邪 (流行性耳下腺炎、ムンプス)	罹患 年 (歳)	

●今までに入院 (不妊治療以外) したことがありますか。

入院期間	病名	治療	施設名
入院 年 月 日 退院 年 月 日			
入院 年 月 日 退院 年 月 日			
入院 年 月 日 退院 年 月 日			

●今までに手術 (不妊治療以外) を受けたことはありますか。

手術の年月日	病名	術式	施設名
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			

●今までに以下の項目で該当するものがあれば☑し、必要な内容は記入しておきましょう。

- アナフィラキシーショック
 注射や採血時の気分不良
 アレルギー (原因:)

●禁忌薬剤

使用できない薬剤があれば記入しておきましょう。また、薬剤を使用した時の病名もわかる範囲で記入しておきましょう。

薬剤名	症状	病名

- 栄養状態は問題ありませんか。 はい・いいえ
- 睡眠は十分にとれていますか。 はい・いいえ
- たばこを吸いますか。 はい(1日 本)・いいえ
- お酒を飲みますか。 はい(1日の量)・いいえ
- 葉酸は飲んでいますか。 はい・いいえ
- 排卵誘発剤の自己注射の経験はありますか。 はい・いいえ
- ご自身の健康状態で気になることを記入しておきましょう。

●妊娠・出産歴

該当する箇所に○や☑を入れ、必要なところは記入をしておきましょう。
 不育症の方は、不育症のページ(P.66)に記載しておきましょう。

出産や流産の年月	状態	施設名
年 月 (歳)	<input type="checkbox"/> 出産(妊娠 週) 男児・女児(g) 経膈分娩・帝王切開 児：異常なし・あり 母：異常なし・あり <input type="checkbox"/> 流産(妊娠 週) 流産処置：あり・なし <input type="checkbox"/> 人工妊娠中絶 <input type="checkbox"/> 異所性妊娠 <input type="checkbox"/> 絨毛性疾患 【自由記載欄】母児の気になることを記入しておきましょう	
年 月 (歳)	<input type="checkbox"/> 出産(妊娠 週) 男児・女児(g) 経膈分娩・帝王切開 児：異常なし・あり 母：異常なし・あり <input type="checkbox"/> 流産(妊娠 週) 流産処置：あり・なし <input type="checkbox"/> 人工妊娠中絶 <input type="checkbox"/> 異所性妊娠 <input type="checkbox"/> 絨毛性疾患 【自由記載欄】母児の気になることを記入しておきましょう	
年 月 (歳)	<input type="checkbox"/> 出産(妊娠 週) 男児・女児(g) 経膈分娩・帝王切開 児：異常なし・あり 母：異常なし・あり <input type="checkbox"/> 流産(妊娠 週) 流産処置：あり・なし <input type="checkbox"/> 人工妊娠中絶 <input type="checkbox"/> 異所性妊娠 <input type="checkbox"/> 絨毛性疾患 【自由記載欄】母児の気になることを記入しておきましょう	

女性の検査の記録

医療機関を受診して結果がでたら、ご自身で記入しておきましょう

※該当する箇所に☑を入れ、必要なところは記入をしておきましょう。
 ※書き方がわからない場合は医療機関の方に尋ねましょう。

一般検査

検査(実施)項目	検査(実施)年月日	結果	施設名
血液型	年 月 日	ABO 型/Rh()	
風疹ウイルス抗体	年 月 日	<input type="checkbox"/> 抗体あり <input type="checkbox"/> 抗体なし 抗体価(倍)	
風疹ワクチン接種	年 月 日		
ハイリスクHPV検査	年 月 日	<input type="checkbox"/> 陽性 <input type="checkbox"/> 陰性	
HPVワクチン接種	年 月 日		
HBs抗原	年 月 日	<input type="checkbox"/> 陽性 <input type="checkbox"/> 陰性	
	年 月 日	<input type="checkbox"/> 陽性 <input type="checkbox"/> 陰性	
HCV抗体	年 月 日	<input type="checkbox"/> 陽性 <input type="checkbox"/> 陰性	
	年 月 日	<input type="checkbox"/> 陽性 <input type="checkbox"/> 陰性	
梅毒血清反応	年 月 日	<input type="checkbox"/> 陽性 <input type="checkbox"/> 陰性	
	年 月 日	<input type="checkbox"/> 陽性 <input type="checkbox"/> 陰性	
HIV抗体	年 月 日	<input type="checkbox"/> 陽性 <input type="checkbox"/> 陰性	
	年 月 日	<input type="checkbox"/> 陽性 <input type="checkbox"/> 陰性	
HTLV-1	年 月 日	<input type="checkbox"/> 陽性 <input type="checkbox"/> 陰性	
	年 月 日	<input type="checkbox"/> 陽性 <input type="checkbox"/> 陰性	
	年 月 日		
	年 月 日		
	年 月 日		

子宮頸がん検査

検査年月日	結果	治療経過	施設名
年 月 日	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	<input type="checkbox"/> 精密検査 (コルボスコピー) (年 月 日) <input type="checkbox"/> レーザー蒸散術 (年 月 日) <input type="checkbox"/> 円錐切除術 (年 月 日)	
年 月 日	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	<input type="checkbox"/> 精密検査 (コルボスコピー) (年 月 日) <input type="checkbox"/> レーザー蒸散術 (年 月 日) <input type="checkbox"/> 円錐切除術 (年 月 日)	
年 月 日	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	<input type="checkbox"/> 精密検査 (コルボスコピー) (年 月 日) <input type="checkbox"/> レーザー蒸散術 (年 月 日) <input type="checkbox"/> 円錐切除術 (年 月 日)	

クラミジア検査

検査年月日	結果	治療	施設名
年 月 日	<input type="checkbox"/> 陽性 <input type="checkbox"/> 陰性	<input type="checkbox"/> 夫婦で治療済	
年 月 日	<input type="checkbox"/> 陽性 <input type="checkbox"/> 陰性	<input type="checkbox"/> 夫婦で治療済	
年 月 日	<input type="checkbox"/> 陽性 <input type="checkbox"/> 陰性	<input type="checkbox"/> 夫婦で治療済	

memo ※その他の検査結果などを記入しておきましょう。

ホルモン検査

※数値を記入しておきましょう。

検査年月日	LH (mIU/ml)	FSH (mIU/ml)	エストロゲン (pg/ml)	黄体ホルモン (ng/ml)	プロラクチン (ng/ml)	施設名
年 月 日 (卵胞期・排卵期・黄体期)						
年 月 日 (卵胞期・排卵期・黄体期)						
年 月 日 (卵胞期・排卵期・黄体期)						
年 月 日 (卵胞期・排卵期・黄体期)						
年 月 日 (卵胞期・排卵期・黄体期)						
年 月 日 (卵胞期・排卵期・黄体期)						
年 月 日 (卵胞期・排卵期・黄体期)						
年 月 日 (卵胞期・排卵期・黄体期)						

甲状腺ホルモン検査

※数値を記入しておきましょう。TSHやfT4以外の検査は検査名と結果を記入しておきましょう。

検査日	TSH (μU/ml)	fT4 (ng/dl)	その他 (検査名)	治療	施設名
年 月 日					
年 月 日					
年 月 日					
年 月 日					
年 月 日					

抗ミュラー管ホルモン (AMH)

※生殖補助医療 (ART) を受けられる方は6月に1回保険で測定できます。

※AMHは卵子の質を表すものではありません。

検査年月日	年齢	結果 (ng/ml)	施設名
年 月 日	歳	<input type="checkbox"/> 年齢相当 <input type="checkbox"/> 低値 <input type="checkbox"/> 高値	
年 月 日	歳	<input type="checkbox"/> 年齢相当 <input type="checkbox"/> 低値 <input type="checkbox"/> 高値	
年 月 日	歳	<input type="checkbox"/> 年齢相当 <input type="checkbox"/> 低値 <input type="checkbox"/> 高値	
年 月 日	歳	<input type="checkbox"/> 年齢相当 <input type="checkbox"/> 低値 <input type="checkbox"/> 高値	
年 月 日	歳	<input type="checkbox"/> 年齢相当 <input type="checkbox"/> 低値 <input type="checkbox"/> 高値	
年 月 日	歳	<input type="checkbox"/> 年齢相当 <input type="checkbox"/> 低値 <input type="checkbox"/> 高値	

memo ※その他の検査結果などを記入しておきましょう。

卵管の検査

検査年月日	検査法	結果	施設名
年 月 日	<input type="checkbox"/> 子宮卵管造影検査 <input type="checkbox"/> 通水検査 <input type="checkbox"/> 通気検査	<input type="checkbox"/> 両側異常なし <input type="checkbox"/> 右卵管通過性不良 <input type="checkbox"/> 左卵管通過性不良 <input type="checkbox"/> 両側閉塞	
年 月 日	<input type="checkbox"/> 子宮卵管造影検査 <input type="checkbox"/> 通水検査 <input type="checkbox"/> 通気検査	<input type="checkbox"/> 両側異常なし <input type="checkbox"/> 右卵管通過性不良 <input type="checkbox"/> 左卵管通過性不良 <input type="checkbox"/> 両側閉塞	
年 月 日	<input type="checkbox"/> 子宮卵管造影検査 <input type="checkbox"/> 通水検査 <input type="checkbox"/> 通気検査	<input type="checkbox"/> 両側異常なし <input type="checkbox"/> 右卵管通過性不良 <input type="checkbox"/> 左卵管通過性不良 <input type="checkbox"/> 両側閉塞	

子宮鏡・卵管鏡下卵管形成術 (FT)・腹腔鏡

※受けた手術にを入れ、結果を記入しておきましょう。

手術年月日	検査法	結果	施設名
年 月 日	<input type="checkbox"/> 子宮鏡 <input type="checkbox"/> 卵管鏡下卵管形成術 (FT) <input type="checkbox"/> 腹腔鏡		
年 月 日	<input type="checkbox"/> 子宮鏡 <input type="checkbox"/> 卵管鏡下卵管形成術 (FT) <input type="checkbox"/> 腹腔鏡		
年 月 日	<input type="checkbox"/> 子宮鏡 <input type="checkbox"/> 卵管鏡下卵管形成術 (FT) <input type="checkbox"/> 腹腔鏡		

予備欄

※検査データを貼ったり、気になったことを書き込んだりしておきましょう。

予備欄

※働く女性は「不妊治療連絡カード」を活用しましょう。

※妊娠や不妊治療についての悩みや不安がある方は、医療機関や性と健康の相談センター等に相談しましょう。

一般不妊治療計画 ①

※医師から説明を受けた不妊原因や治療計画は該当する箇所に○や☑を入れ、必要なところは記入をしておきましょう。

※治療計画は、**少なくとも6か月に1回以上は見直しをしましょう。**

不妊原因	<input type="checkbox"/> 排卵障害 <input type="checkbox"/> 多嚢胞性卵巣症候群 (PCOS) <input type="checkbox"/> 高プロラクチン血症 <input type="checkbox"/> 子宮内膜症 <input type="checkbox"/> 子宮因子 (子宮筋腫・子宮奇形・子宮内ポリープ) <input type="checkbox"/> 勃起不全・射精障害 <input type="checkbox"/> 乏精子症・精子無力症・奇形精子症 <input type="checkbox"/> 無精子症 (非閉塞性無精子症・閉塞性無精子症) <input type="checkbox"/> 原因不明 <input type="checkbox"/> 不育症 <input type="checkbox"/> セックスレス (女性因子・男性因子) <input type="checkbox"/> 甲状腺機能異常 (亢進・低下) <input type="checkbox"/> その他 ※記載のない原因を記入しておきましょう						
治療計画	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">タイミング療法</td> <td style="width: 50%;">回の予定</td> </tr> <tr> <td>人工授精</td> <td>回の予定</td> </tr> <tr> <td colspan="2">その他 ※タイミング療法や人工授精以外の治療計画を記入しておきましょう</td> </tr> </table>	タイミング療法	回の予定	人工授精	回の予定	その他 ※タイミング療法や人工授精以外の治療計画を記入しておきましょう	
タイミング療法	回の予定						
人工授精	回の予定						
その他 ※タイミング療法や人工授精以外の治療計画を記入しておきましょう							
治療計画立案日	年 月 日						
施設名							
memo ※大切なことや気になることを記入しておきましょう。							

一般不妊治療計画 ②

※医師から説明を受けた不妊原因や治療計画は該当する箇所に○や☑を入れ、必要なところは記入をしておきましょう。

※治療計画は、**少なくとも6か月に1回以上は見直しをしましょう。**

不妊原因	<input type="checkbox"/> 排卵障害 <input type="checkbox"/> 多嚢胞性卵巣症候群 (PCOS) <input type="checkbox"/> 高プロラクチン血症 <input type="checkbox"/> 子宮内膜症 <input type="checkbox"/> 子宮因子 (子宮筋腫・子宮奇形・子宮内ポリープ) <input type="checkbox"/> 勃起不全・射精障害 <input type="checkbox"/> 乏精子症・精子無力症・奇形精子症 <input type="checkbox"/> 無精子症 (非閉塞性無精子症・閉塞性無精子症) <input type="checkbox"/> 原因不明 <input type="checkbox"/> 不育症 <input type="checkbox"/> セックスレス (女性因子・男性因子) <input type="checkbox"/> 甲状腺機能異常 (亢進・低下) <input type="checkbox"/> その他 ※記載のない原因を記入しておきましょう						
治療計画	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">タイミング療法</td> <td style="width: 50%;">回の予定</td> </tr> <tr> <td>人工授精</td> <td>回の予定</td> </tr> <tr> <td colspan="2">その他 ※タイミング療法や人工授精以外の治療計画を記入しておきましょう</td> </tr> </table>	タイミング療法	回の予定	人工授精	回の予定	その他 ※タイミング療法や人工授精以外の治療計画を記入しておきましょう	
タイミング療法	回の予定						
人工授精	回の予定						
その他 ※タイミング療法や人工授精以外の治療計画を記入しておきましょう							
治療計画立案日	年 月 日						
施設名							
memo ※大切なことや気になることを記入しておきましょう。							

一般不妊治療計画 ③

※医師から説明を受けた不妊原因や治療計画は該当する箇所に○や☑を入れ、必要なところは記入をしておきましょう。

※治療計画は、**少なくとも6か月に1回以上は見直しをしましょう。**

不妊原因	<input type="checkbox"/> 排卵障害 <input type="checkbox"/> 多嚢胞性卵巣症候群 (PCOS) <input type="checkbox"/> 高プロラクチン血症 <input type="checkbox"/> 子宮内膜症 <input type="checkbox"/> 子宮因子 (子宮筋腫・子宮奇形・子宮内ポリープ) <input type="checkbox"/> 勃起不全・射精障害 <input type="checkbox"/> 乏精子症・精子無力症・奇形精子症 <input type="checkbox"/> 無精子症 (非閉塞性無精子症・閉塞性無精子症) <input type="checkbox"/> 原因不明 <input type="checkbox"/> 不育症 <input type="checkbox"/> セックスレス (女性因子・男性因子) <input type="checkbox"/> 甲状腺機能異常 (亢進・低下) <input type="checkbox"/> その他 ※記載のない原因を記入しておきましょう
治療計画	タイミング療法 回の予定 人工授精 回の予定 その他 ※タイミング療法や人工授精以外の治療計画を記入しておきましょう
治療計画立案日	年 月 日
施設名	
memo ※大切なことや気になることを記入しておきましょう。	

予備欄

タイミング療法は年齢や回数に制限がなく保険で治療を受けることができます。

治療が奏効しない場合には、人工授精や生殖補助医療について医師と相談しましょう。

タイミング療法の記録

※使用した薬剤は薬剤メモ（P.22、23）を参考に○をつけ、排卵誘発剤以外の薬剤を使用した場合も記入をしておきましょう。書き方がわからない場合は医療機関の方に尋ねましょう。

回数	最終月経開始日	排卵誘発剤	その他併用薬剤	薬剤の不安や気づきなど
1	年 月 日	CC FSH/hMG製剤 r-FSH製剤 アロマトーゼ阻害薬 その他()		
2	年 月 日	CC FSH/hMG製剤 r-FSH製剤 アロマトーゼ阻害薬 その他()		
3	年 月 日	CC FSH/hMG製剤 r-FSH製剤 アロマトーゼ阻害薬 その他()		
4	年 月 日	CC FSH/hMG製剤 r-FSH製剤 アロマトーゼ阻害薬 その他()		
5	年 月 日	CC FSH/hMG製剤 r-FSH製剤 アロマトーゼ阻害薬 その他()		
6	年 月 日	CC FSH/hMG製剤 r-FSH製剤 アロマトーゼ阻害薬 その他()		

※診察経過の欄は卵胞の大きさや内膜の厚み、タイミングを持った日などを記入しておきましょう。

診察経過（卵胞や子宮内膜の状態、タイミングを持った日など）	妊娠の転帰	施設名
	妊娠 非妊娠 生化学的妊娠 流産 出産	

タイミング療法の記録

※治療回数が6回以上の場合は、このページに追加して治療を受けた記録を残しておきましょう。

回数	最終月経開始日	排卵誘発剤	その他併用薬剤	薬剤の不安や気づきなど
7	年 月 日	CC FSH/hMG製剤 r-FSH製剤 アロマトーゼ阻害薬 その他()		
8	年 月 日	CC FSH/hMG製剤 r-FSH製剤 アロマトーゼ阻害薬 その他()		
9	年 月 日	CC FSH/hMG製剤 r-FSH製剤 アロマトーゼ阻害薬 その他()		
10	年 月 日	CC FSH/hMG製剤 r-FSH製剤 アロマトーゼ阻害薬 その他()		

薬剤メモ

排卵誘発剤	商品名
CC (クエン酸クロミフェン)	錠剤 クロミッド、セキソビット
AI (アロマトーゼ阻害薬)	錠剤 レトロゾール、フェマーラ
FSH/hMG製剤	注射 フォリルモンP、hMGフェリング、hMGフジ、uFSHあすか
r-FSH製剤	ペン型注射 ゴナールエフベン、レコベル
hCG製剤	注射 オビドレル、ゴナトロピン

診察経過 (卵胞や子宮内膜の状態、タイミングを持った日など)	妊娠の転帰	施設名
	妊娠 非妊娠 生化学的妊娠 流産 出産	

排卵誘発剤	商品名
GnRHアゴニスト	点鼻剤 スプレキュア、ナサニール、ナファレリン、プセリン
GnRHアンタゴニスト	注射 セトロタイド、ガニレスト
黄体ホルモン製剤	錠剤 デュファストン、プロベラ、ヒスロン、プロゲストン、メドロキシプロゲステロン酢酸エステル

人工授精の記録

※使用した薬剤は薬剤メモ（P.26、27）を参考に○をつけ、排卵誘発剤以外の薬剤を使用した場合も記入をしておきましょう。書き方がわからない場合は医療機関の方に尋ねましょう。

回数	最終月経開始日	排卵誘発剤	その他併用薬剤	薬剤の不安や気づきなど
1	年 月 日	CC FSH/hMG製剤 r-FSH製剤 アロマトーゼ阻害薬 その他()		
2	年 月 日	CC FSH/hMG製剤 r-FSH製剤 アロマトーゼ阻害薬 その他()		
3	年 月 日	CC FSH/hMG製剤 r-FSH製剤 アロマトーゼ阻害薬 その他()		
4	年 月 日	CC FSH/hMG製剤 r-FSH製剤 アロマトーゼ阻害薬 その他()		
5	年 月 日	CC FSH/hMG製剤 r-FSH製剤 アロマトーゼ阻害薬 その他()		
6	年 月 日	CC FSH/hMG製剤 r-FSH製剤 アロマトーゼ阻害薬 その他()		

※診察経過の欄は卵胞の大きさや内膜の厚み、人工授精の日や精子の状態などを記入しておきましょう。

診察経過（卵胞や子宮内膜、精子の状態、人工授精の日など）	妊娠の転帰	施設名
	妊娠 非妊娠 生化学的妊娠 流産 出産	

人工授精の記録

※治療回数が6回以上の場合は、このページに追加して治療を受けた記録を残しておきましょう。

回数	最終月経開始日	排卵誘発剤	その他併用薬剤	薬剤の不安や気づきなど
7	年 月 日	CC FSH/hMG製剤 r-FSH製剤 アロマトーゼ阻害薬 その他()		
8	年 月 日	CC FSH/hMG製剤 r-FSH製剤 アロマトーゼ阻害薬 その他()		
9	年 月 日	CC FSH/hMG製剤 r-FSH製剤 アロマトーゼ阻害薬 その他()		
10	年 月 日	CC FSH/hMG製剤 r-FSH製剤 アロマトーゼ阻害薬 その他()		

薬剤メモ

排卵誘発剤	商品名
CC (クエン酸クロミフェン)	錠剤 クロミッド、セキソビット
AI (アロマトーゼ阻害薬)	錠剤 レトロゾール、フェマール
FSH/hMG製剤	注射 フォリルモンP、hMGフェリング、hMGフジ、uFSHあすか
r-FSH製剤	ペン型注射 ゴナールエフベン、レコベル
hCG製剤	注射 オビドレル、ゴナトロピン

診察経過 (卵胞や子宮内膜、精子の状態、人工授精の日など)	妊娠の転帰	施設名
	妊娠 非妊娠 生化学的妊娠 流産 出産	

排卵誘発剤	商品名
GnRHアゴニスト	点鼻剤 スプレキュア、ナサニール、ナファレリン、プセリン
GnRHアンタゴニスト	注射 セトロタイド、ガニレスト
黄体ホルモン製剤	錠剤 デュファストン、プロベラ、ヒスロン、プロゲストン、メドロキシプロゲステロン酢酸エステル

予備欄

人工授精は年齢や回数に制限がなく、保険で治療を受けることができます。

- 人工授精の実施にあたっては、密度勾配遠心法、連続密度勾配法またはスイムアップ法等により、運動性の良好な精子を回収する前処置を行います。
- 治療は、関係学会から示されているガイドライン等を踏まえ、治療を受けるカップル同席のうえ治療方針について医師と十分に相談し、文書による同意が必要です。
また、同意を得た文書は診療録に添付されます。
- 人工授精の目安は上限を6回とし、妊娠が成立しない場合は生殖補助医療へステップアップします。
治療が奏効しない場合には、生殖補助医療について医師と相談しましょう。

予備欄

- ※検査データを貼ったり、気になったことを書き込んだりしておきましょう。
- ※働く女性は「不妊治療連絡カード」を活用しましょう。
- ※妊娠や不妊治療についての悩みや不安がある方は、医療機関や性と健康の相談センター等に相談しましょう。

生殖補助医療 (ART) 治療計画 ①

- ※医師から説明を受けた不妊原因や治療計画は該当する箇所に☑を入れ、記入をしておきましょう。
 ※ARTの治療計画は胚移植ごとに計画が必要です。
 ※専門用語やオプション、先進医療等でわからない内容があれば「患者さんのための生殖医療ガイドライン」(P.3)をご活用ください。

ARTの理由	<input type="checkbox"/> 卵管因子 <input type="checkbox"/> 男性不妊 <input type="checkbox"/> 機能性不妊 <input type="checkbox"/> 一般不妊治療が無効
支払いの区分	<input type="checkbox"/> 保険(これまでの移植回数 回) <input type="checkbox"/> 自費
卵巣刺激法	<input type="checkbox"/> ロング法 <input type="checkbox"/> ショート法 <input type="checkbox"/> アンタゴニスト法 <input type="checkbox"/> PPOS法(黄体ホルモン併用卵巣刺激法) <input type="checkbox"/> その他()
媒精法	<input type="checkbox"/> 体外受精 <input type="checkbox"/> 顕微授精 { <input type="checkbox"/> 射出精子(☐新鮮・☐凍結) <input type="checkbox"/> TESE(☐新鮮・☐凍結) } <input type="checkbox"/> 体外受精と顕微授精を同時に実施
オプション	<input type="checkbox"/> 卵子活性化 <input type="checkbox"/> 胚盤胞培養 <input type="checkbox"/> アシステッドハッチング <input type="checkbox"/> 高濃度ヒアルロン酸培養液使用 <input type="checkbox"/> その他 { }
先進医療	<input type="checkbox"/> PICSI <input type="checkbox"/> IMSI <input type="checkbox"/> タイムラプス <input type="checkbox"/> SEET法 <input type="checkbox"/> 子宮内膜スクラッチ <input type="checkbox"/> 二段階胚移植 <input type="checkbox"/> 子宮内細菌叢検査 <input type="checkbox"/> 子宮内膜受容能検査 <input type="checkbox"/> その他 { }
胚移植	<input type="checkbox"/> 新鮮胚移植 <input type="checkbox"/> 残った胚は凍結 <input type="checkbox"/> 全胚凍結し、後日融解胚移植
治療計画立案日	年 月 日
施設名	
memo ※大切なことや気になることを記入しておきましょう。	

生殖補助医療 (ART) 治療計画 ②

- ※医師から説明を受けた不妊原因や治療計画は該当する箇所に☑を入れ、記入をしておきましょう。
 ※ARTの治療計画は胚移植ごとに計画が必要です。
 ※専門用語やオプション、先進医療等でわからない内容があれば「患者さんのための生殖医療ガイドライン」(P.3)をご活用ください。

ARTの理由	<input type="checkbox"/> 卵管因子 <input type="checkbox"/> 男性不妊 <input type="checkbox"/> 機能性不妊 <input type="checkbox"/> 一般不妊治療が無効
支払いの区分	<input type="checkbox"/> 保険(これまでの移植回数 回) <input type="checkbox"/> 自費
卵巣刺激法	<input type="checkbox"/> ロング法 <input type="checkbox"/> ショート法 <input type="checkbox"/> アンタゴニスト法 <input type="checkbox"/> PPOS法(黄体ホルモン併用卵巣刺激法) <input type="checkbox"/> その他()
媒精法	<input type="checkbox"/> 体外受精 <input type="checkbox"/> 顕微授精 { <input type="checkbox"/> 射出精子(☐新鮮・☐凍結) <input type="checkbox"/> TESE(☐新鮮・☐凍結) } <input type="checkbox"/> 体外受精と顕微授精を同時に実施
オプション	<input type="checkbox"/> 卵子活性化 <input type="checkbox"/> 胚盤胞培養 <input type="checkbox"/> アシステッドハッチング <input type="checkbox"/> 高濃度ヒアルロン酸培養液使用 <input type="checkbox"/> その他 { }
先進医療	<input type="checkbox"/> PICSI <input type="checkbox"/> IMSI <input type="checkbox"/> タイムラプス <input type="checkbox"/> SEET法 <input type="checkbox"/> 子宮内膜スクラッチ <input type="checkbox"/> 二段階胚移植 <input type="checkbox"/> 子宮内細菌叢検査 <input type="checkbox"/> 子宮内膜受容能検査 <input type="checkbox"/> その他 { }
胚移植	<input type="checkbox"/> 新鮮胚移植 <input type="checkbox"/> 残った胚は凍結 <input type="checkbox"/> 全胚凍結し、後日融解胚移植
治療計画立案日	年 月 日
施設名	
memo ※大切なことや気になることを記入しておきましょう。	

生殖補助医療 (ART) 治療計画 ③

※医師から説明を受けた不妊原因や治療計画は該当する箇所に☑を入れ、記入をしておきましょう。
 ※ARTの治療計画は胚移植ごとに計画が必要です。
 ※専門用語やオプション、先進医療等でわからない内容があれば「患者さんのための生殖医療ガイドライン」(P.3)をご活用ください。

ARTの理由	<input type="checkbox"/> 卵管因子 <input type="checkbox"/> 男性不妊 <input type="checkbox"/> 機能性不妊 <input type="checkbox"/> 一般不妊治療が無効
支払いの区分	<input type="checkbox"/> 保険(これまでの移植回数 回) <input type="checkbox"/> 自費
卵巣刺激法	<input type="checkbox"/> ロング法 <input type="checkbox"/> ショート法 <input type="checkbox"/> アンタゴニスト法 <input type="checkbox"/> PPOS法(黄体ホルモン併用卵巣刺激法) <input type="checkbox"/> その他()
媒精法	<input type="checkbox"/> 体外受精 <input type="checkbox"/> 顕微授精 { <input type="checkbox"/> 射出精子(☐新鮮・☐凍結) <input type="checkbox"/> TESE(☐新鮮・☐凍結) } <input type="checkbox"/> 体外受精と顕微授精を同時に実施
オプション	<input type="checkbox"/> 卵子活性化 <input type="checkbox"/> 胚盤胞培養 <input type="checkbox"/> アシステッドハッチング <input type="checkbox"/> 高濃度ヒアルロン酸培養液使用 <input type="checkbox"/> その他 { }
先進医療	<input type="checkbox"/> PICSI <input type="checkbox"/> IMSI <input type="checkbox"/> タイムラプス <input type="checkbox"/> SEET法 <input type="checkbox"/> 子宮内膜スクラッチ <input type="checkbox"/> 二段階胚移植 <input type="checkbox"/> 子宮内細菌叢検査 <input type="checkbox"/> 子宮内膜受容能検査 <input type="checkbox"/> その他 { }
胚移植	<input type="checkbox"/> 新鮮胚移植 <input type="checkbox"/> 残った胚は凍結 <input type="checkbox"/> 全胚凍結し、後日融解胚移植
治療計画立案日 年 月 日 施設名	
memo ※大切なことや気になることを記入しておきましょう。	

生殖補助医療 (ART) 治療計画 ④

※医師から説明を受けた不妊原因や治療計画は該当する箇所に☑を入れ、記入をしておきましょう。
 ※ARTの治療計画は胚移植ごとに計画が必要です。
 ※専門用語やオプション、先進医療等でわからない内容があれば「患者さんのための生殖医療ガイドライン」(P.3)をご活用ください。

ARTの理由	<input type="checkbox"/> 卵管因子 <input type="checkbox"/> 男性不妊 <input type="checkbox"/> 機能性不妊 <input type="checkbox"/> 一般不妊治療が無効
支払いの区分	<input type="checkbox"/> 保険(これまでの移植回数 回) <input type="checkbox"/> 自費
卵巣刺激法	<input type="checkbox"/> ロング法 <input type="checkbox"/> ショート法 <input type="checkbox"/> アンタゴニスト法 <input type="checkbox"/> PPOS法(黄体ホルモン併用卵巣刺激法) <input type="checkbox"/> その他()
媒精法	<input type="checkbox"/> 体外受精 <input type="checkbox"/> 顕微授精 { <input type="checkbox"/> 射出精子(☐新鮮・☐凍結) <input type="checkbox"/> TESE(☐新鮮・☐凍結) } <input type="checkbox"/> 体外受精と顕微授精を同時に実施
オプション	<input type="checkbox"/> 卵子活性化 <input type="checkbox"/> 胚盤胞培養 <input type="checkbox"/> アシステッドハッチング <input type="checkbox"/> 高濃度ヒアルロン酸培養液使用 <input type="checkbox"/> その他 { }
先進医療	<input type="checkbox"/> PICSI <input type="checkbox"/> IMSI <input type="checkbox"/> タイムラプス <input type="checkbox"/> SEET法 <input type="checkbox"/> 子宮内膜スクラッチ <input type="checkbox"/> 二段階胚移植 <input type="checkbox"/> 子宮内細菌叢検査 <input type="checkbox"/> 子宮内膜受容能検査 <input type="checkbox"/> その他 { }
胚移植	<input type="checkbox"/> 新鮮胚移植 <input type="checkbox"/> 残った胚は凍結 <input type="checkbox"/> 全胚凍結し、後日融解胚移植
治療計画立案日 年 月 日 施設名	
memo ※大切なことや気になることを記入しておきましょう。	

生殖補助医療 (ART) 治療計画 ⑤

- ※医師から説明を受けた不妊原因や治療計画は該当する箇所に☑を入れ、記入をしておきましょう。
 ※ARTの治療計画は胚移植ごとに計画が必要です。
 ※専門用語やオプション、先進医療等でわからない内容があれば「患者さんのための生殖医療ガイドライン」(P.3)をご活用ください。

ARTの理由	<input type="checkbox"/> 卵管因子 <input type="checkbox"/> 男性不妊 <input type="checkbox"/> 機能性不妊 <input type="checkbox"/> 一般不妊治療が無効
支払いの区分	<input type="checkbox"/> 保険(これまでの移植回数 回) <input type="checkbox"/> 自費
卵巣刺激法	<input type="checkbox"/> ロング法 <input type="checkbox"/> ショート法 <input type="checkbox"/> アンタゴニスト法 <input type="checkbox"/> PPOS法(黄体ホルモン併用卵巣刺激法) <input type="checkbox"/> その他()
媒精法	<input type="checkbox"/> 体外受精 <input type="checkbox"/> 顕微授精 { <input type="checkbox"/> 射出精子(☐新鮮・☐凍結) <input type="checkbox"/> TESE(☐新鮮・☐凍結) } <input type="checkbox"/> 体外受精と顕微授精を同時に実施
オプション	<input type="checkbox"/> 卵子活性化 <input type="checkbox"/> 胚盤胞培養 <input type="checkbox"/> アシステッドハッチング <input type="checkbox"/> 高濃度ヒアルロン酸培養液使用 <input type="checkbox"/> その他 { }
先進医療	<input type="checkbox"/> PICSI <input type="checkbox"/> IMSI <input type="checkbox"/> タイムラプス <input type="checkbox"/> SEET法 <input type="checkbox"/> 子宮内膜スクラッチ <input type="checkbox"/> 二段階胚移植 <input type="checkbox"/> 子宮内細菌叢検査 <input type="checkbox"/> 子宮内膜受容能検査 <input type="checkbox"/> その他 { }
胚移植	<input type="checkbox"/> 新鮮胚移植 <input type="checkbox"/> 残った胚は凍結 <input type="checkbox"/> 全胚凍結し、後日融解胚移植
治療計画立案日	年 月 日
施設名	
memo	※大切なことや気になることを記入しておきましょう。

生殖補助医療 (ART) 治療計画 ⑥

- ※医師から説明を受けた不妊原因や治療計画は該当する箇所に☑を入れ、記入をしておきましょう。
 ※ARTの治療計画は胚移植ごとに計画が必要です。
 ※専門用語やオプション、先進医療等でわからない内容があれば「患者さんのための生殖医療ガイドライン」(P.3)をご活用ください。

ARTの理由	<input type="checkbox"/> 卵管因子 <input type="checkbox"/> 男性不妊 <input type="checkbox"/> 機能性不妊 <input type="checkbox"/> 一般不妊治療が無効
支払いの区分	<input type="checkbox"/> 保険(これまでの移植回数 回) <input type="checkbox"/> 自費
卵巣刺激法	<input type="checkbox"/> ロング法 <input type="checkbox"/> ショート法 <input type="checkbox"/> アンタゴニスト法 <input type="checkbox"/> PPOS法(黄体ホルモン併用卵巣刺激法) <input type="checkbox"/> その他()
媒精法	<input type="checkbox"/> 体外受精 <input type="checkbox"/> 顕微授精 { <input type="checkbox"/> 射出精子(☐新鮮・☐凍結) <input type="checkbox"/> TESE(☐新鮮・☐凍結) } <input type="checkbox"/> 体外受精と顕微授精を同時に実施
オプション	<input type="checkbox"/> 卵子活性化 <input type="checkbox"/> 胚盤胞培養 <input type="checkbox"/> アシステッドハッチング <input type="checkbox"/> 高濃度ヒアルロン酸培養液使用 <input type="checkbox"/> その他 { }
先進医療	<input type="checkbox"/> PICSI <input type="checkbox"/> IMSI <input type="checkbox"/> タイムラプス <input type="checkbox"/> SEET法 <input type="checkbox"/> 子宮内膜スクラッチ <input type="checkbox"/> 二段階胚移植 <input type="checkbox"/> 子宮内細菌叢検査 <input type="checkbox"/> 子宮内膜受容能検査 <input type="checkbox"/> その他 { }
胚移植	<input type="checkbox"/> 新鮮胚移植 <input type="checkbox"/> 残った胚は凍結 <input type="checkbox"/> 全胚凍結し、後日融解胚移植
治療計画立案日	年 月 日
施設名	
memo	※大切なことや気になることを記入しておきましょう。

**女性の年齢が生殖補助医療の開始日(治療計画日)において43歳未満の場合に
保険で治療を受けることができます。**

- 40歳未満は胚移植6回まで、40歳～43歳未満は胚移植3回までが保険適用です。
- 治療計画は、胚移植術の実施に向けた一連の診療過程ごとに作成します。
少なくとも6か月に1回以上、必要に応じて治療計画の見直しを行う必要があります。
- 治療は関係学会から示されているガイドライン等を踏まえ、治療を受けるカップル同席のうえ
治療方針について医師と十分に相談し、文書による同意が必要です。
また、同意を得た文書は診療録に添付されます。

※働く女性は「不妊治療連絡カード」を活用しましょう。

※妊娠や不妊治療についての悩みや不安がある方は、医療機関や性と健康の相談センター等に
相談しましょう。

採卵の記録

※排卵誘発や受精の方法は該当する箇所に○や☑を入れ、医師から説明された内容をできるだけ詳しく記入しておきましょう。書き方がわからない場合は医療機関の方に尋ねましょう。

回数	採卵日／施設名	排卵誘発	使用した薬剤や量
1	採卵日 年 月 日	ロング法 ショート法 アンタゴニスト法 PPOS法 その他()	
	施設名		
2	採卵日 年 月 日	ロング法 ショート法 アンタゴニスト法 PPOS法 その他()	
	施設名		
3	採卵日 年 月 日	ロング法 ショート法 アンタゴニスト法 PPOS法 その他()	
	施設名		
4	採卵日 年 月 日	ロング法 ショート法 アンタゴニスト法 PPOS法 その他()	
	施設名		
5	採卵日 年 月 日	ロング法 ショート法 アンタゴニスト法 PPOS法 その他()	
	施設名		
6	採卵日 年 月 日	ロング法 ショート法 アンタゴニスト法 PPOS法 その他()	
	施設名		

※専門用語や治療法等でわからない内容があれば「患者さんのための生殖医療ガイドライン」(P.3)をご活用ください。

受精の方法	採卵数／受精数	胚移植	凍結胚
体外受精 体外と顕微両方 顕微授精 (<input type="checkbox"/> 射出精子 <input type="checkbox"/> TESE (<input type="checkbox"/> 新鮮・ <input type="checkbox"/> 凍結))	採卵数 個	<input type="checkbox"/> 新鮮胚移植 <input type="checkbox"/> 全胚凍結 <input type="checkbox"/> 残った胚は凍結	初期胚 個
	受精数 個		胚盤胞 個 その他() 個
体外受精 体外と顕微両方 顕微授精 (<input type="checkbox"/> 射出精子 <input type="checkbox"/> TESE (<input type="checkbox"/> 新鮮・ <input type="checkbox"/> 凍結))	採卵数 個	<input type="checkbox"/> 新鮮胚移植 <input type="checkbox"/> 全胚凍結 <input type="checkbox"/> 残った胚は凍結	初期胚 個
	受精数 個		胚盤胞 個 その他() 個
体外受精 体外と顕微両方 顕微授精 (<input type="checkbox"/> 射出精子 <input type="checkbox"/> TESE (<input type="checkbox"/> 新鮮・ <input type="checkbox"/> 凍結))	採卵数 個	<input type="checkbox"/> 新鮮胚移植 <input type="checkbox"/> 全胚凍結 <input type="checkbox"/> 残った胚は凍結	初期胚 個
	受精数 個		胚盤胞 個 その他() 個
体外受精 体外と顕微両方 顕微授精 (<input type="checkbox"/> 射出精子 <input type="checkbox"/> TESE (<input type="checkbox"/> 新鮮・ <input type="checkbox"/> 凍結))	採卵数 個	<input type="checkbox"/> 新鮮胚移植 <input type="checkbox"/> 全胚凍結 <input type="checkbox"/> 残った胚は凍結	初期胚 個
	受精数 個		胚盤胞 個 その他() 個
体外受精 体外と顕微両方 顕微授精 (<input type="checkbox"/> 射出精子 <input type="checkbox"/> TESE (<input type="checkbox"/> 新鮮・ <input type="checkbox"/> 凍結))	採卵数 個	<input type="checkbox"/> 新鮮胚移植 <input type="checkbox"/> 全胚凍結 <input type="checkbox"/> 残った胚は凍結	初期胚 個
	受精数 個		胚盤胞 個 その他() 個
体外受精 体外と顕微両方 顕微授精 (<input type="checkbox"/> 射出精子 <input type="checkbox"/> TESE (<input type="checkbox"/> 新鮮・ <input type="checkbox"/> 凍結))	採卵数 個	<input type="checkbox"/> 新鮮胚移植 <input type="checkbox"/> 全胚凍結 <input type="checkbox"/> 残った胚は凍結	初期胚 個
	受精数 個		胚盤胞 個 その他() 個

採卵の記録

※採卵回数が6回以上の場合は、このページに追加して治療を受けた記録を残しておきましょう。

回数	採卵日／施設名	排卵誘発	使用した薬剤や量
7	採卵日 年 月 日	ロング法 ショート法 アンタゴニスト法 PPOS法 その他()	
	施設名		
8	採卵日 年 月 日	ロング法 ショート法 アンタゴニスト法 PPOS法 その他()	
	施設名		
9	採卵日 年 月 日	ロング法 ショート法 アンタゴニスト法 PPOS法 その他()	
	施設名		
10	採卵日 年 月 日	ロング法 ショート法 アンタゴニスト法 PPOS法 その他()	
	施設名		
11	採卵日 年 月 日	ロング法 ショート法 アンタゴニスト法 PPOS法 その他()	
	施設名		
12	採卵日 年 月 日	ロング法 ショート法 アンタゴニスト法 PPOS法 その他()	
	施設名		

受精の方法	採卵数／受精数	胚移植	凍結胚
体外受精 体外と顕微両方 顕微授精 (<input type="checkbox"/> 射出精子 <input type="checkbox"/> TESE (<input type="checkbox"/> 新鮮・ <input type="checkbox"/> 凍結))	採卵数 個	<input type="checkbox"/> 新鮮胚移植 <input type="checkbox"/> 全胚凍結 <input type="checkbox"/> 残った胚は凍結	初期胚 個
	受精数 個		胚盤胞 個 その他() 個
体外受精 体外と顕微両方 顕微授精 (<input type="checkbox"/> 射出精子 <input type="checkbox"/> TESE (<input type="checkbox"/> 新鮮・ <input type="checkbox"/> 凍結))	採卵数 個	<input type="checkbox"/> 新鮮胚移植 <input type="checkbox"/> 全胚凍結 <input type="checkbox"/> 残った胚は凍結	初期胚 個
	受精数 個		胚盤胞 個 その他() 個
体外受精 体外と顕微両方 顕微授精 (<input type="checkbox"/> 射出精子 <input type="checkbox"/> TESE (<input type="checkbox"/> 新鮮・ <input type="checkbox"/> 凍結))	採卵数 個	<input type="checkbox"/> 新鮮胚移植 <input type="checkbox"/> 全胚凍結 <input type="checkbox"/> 残った胚は凍結	初期胚 個
	受精数 個		胚盤胞 個 その他() 個
体外受精 体外と顕微両方 顕微授精 (<input type="checkbox"/> 射出精子 <input type="checkbox"/> TESE (<input type="checkbox"/> 新鮮・ <input type="checkbox"/> 凍結))	採卵数 個	<input type="checkbox"/> 新鮮胚移植 <input type="checkbox"/> 全胚凍結 <input type="checkbox"/> 残った胚は凍結	初期胚 個
	受精数 個		胚盤胞 個 その他() 個
体外受精 体外と顕微両方 顕微授精 (<input type="checkbox"/> 射出精子 <input type="checkbox"/> TESE (<input type="checkbox"/> 新鮮・ <input type="checkbox"/> 凍結))	採卵数 個	<input type="checkbox"/> 新鮮胚移植 <input type="checkbox"/> 全胚凍結 <input type="checkbox"/> 残った胚は凍結	初期胚 個
	受精数 個		胚盤胞 個 その他() 個
体外受精 体外と顕微両方 顕微授精 (<input type="checkbox"/> 射出精子 <input type="checkbox"/> TESE (<input type="checkbox"/> 新鮮・ <input type="checkbox"/> 凍結))	採卵数 個	<input type="checkbox"/> 新鮮胚移植 <input type="checkbox"/> 全胚凍結 <input type="checkbox"/> 残った胚は凍結	初期胚 個
	受精数 個		胚盤胞 個 その他() 個

先進医療

※できるだけ詳しく記入し、書き方がわからない場合は医療機関の方に尋ねましょう。

先進医療名：	
実施年月日 年 月 日	結果や状態
施設名	
先進医療名：	
実施年月日 年 月 日	結果や状態
施設名	
先進医療名：	
実施年月日 年 月 日	結果や状態
施設名	
先進医療名：	
実施年月日 年 月 日	結果や状態
施設名	

※専門用語や先進医療等でわからない内容があれば「患者さんのための生殖医療ガイドライン」(P.3)をご活用ください。

先進医療名：	
実施年月日 年 月 日	結果や状態
施設名	
先進医療名：	
実施年月日 年 月 日	結果や状態
施設名	
先進医療名：	
実施年月日 年 月 日	結果や状態
施設名	
先進医療名：	
実施年月日 年 月 日	結果や状態
施設名	

胚移植の記録 ①

※胚移植を行った際に該当する箇所に○や☑を入れ、医師から説明された内容をできるだけ詳しく記入しておきましょう。書き方がわからない場合は医療機関の方に尋ねましょう。

※専門用語や治療法等でわからない内容があれば「患者さんのための生殖医療ガイドライン」(P.3)をご活用ください。

胚移植の年月日	年 月 日 (二段階胚移植の場合：2回目移植日 年 月 日)
支払いの区分	<input type="checkbox"/> 保険(これまでの移植回数 回) <input type="checkbox"/> 自費
胚移植	<input type="checkbox"/> 新鮮胚移植 <input type="checkbox"/> 凍結融解胚移植
子宮内膜調整法	<input type="checkbox"/> 自然周期 <input type="checkbox"/> ホルモン調整周期 使用薬剤名 ()
オプション	<input type="checkbox"/> 胚盤胞培養 <input type="checkbox"/> アシステッドハッチング <input type="checkbox"/> 高濃度ヒアルロン酸培養液使用 <input type="checkbox"/> その他 ()
先進医療	<input type="checkbox"/> SEET法 <input type="checkbox"/> 子宮内膜スクラッチ <input type="checkbox"/> 二段階胚移植 <input type="checkbox"/> 子宮内細菌叢検査 <input type="checkbox"/> 子宮内膜受容能検査 <input type="checkbox"/> その他 ()
移植胚 <small>わかる範囲で記入しておきましょう</small>	移植個数： 個 移植ステージ：初期胚・胚盤胞・その他 () 移植グレード：
移植胚の状態	子宮内膜厚： mm 移植の難易度 { <input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 移植カテーテルの挿入困難 <input type="checkbox"/> 胚移植のやり直しがあった <input type="checkbox"/> その他 () }
現在保存している凍結胚	初期胚： 個 胚盤胞： 個 その他 ()： 個 【自由記載欄】※凍結胚のグレードなどをわかる範囲で記入しておきましょう
転帰	<input type="checkbox"/> 妊娠 <input type="checkbox"/> 非妊娠 <input type="checkbox"/> 生化学的妊娠 <input type="checkbox"/> 流産(妊娠 週) <input type="checkbox"/> 異所性妊娠 <input type="checkbox"/> 絨毛性疾患 <input type="checkbox"/> 出産 分娩日： 年 月 日(妊娠 週 日) 男児・女児 (g) 経膈分娩・帝王切開 児：異常なし・あり 母：妊娠中・分娩時の異常 なし・あり 【自由記載欄】
治療施設名	

胚移植の記録 ②

※胚移植を行った際に該当する箇所に○や☑を入れ、医師から説明された内容をできるだけ詳しく記入しておきましょう。書き方がわからない場合は医療機関の方に尋ねましょう。

※専門用語や治療法等でわからない内容があれば「患者さんのための生殖医療ガイドライン」(P.3)をご活用ください。

胚移植の年月日	年 月 日 (二段階胚移植の場合：2回目移植日 年 月 日)
支払いの区分	<input type="checkbox"/> 保険(これまでの移植回数 回) <input type="checkbox"/> 自費
胚移植	<input type="checkbox"/> 新鮮胚移植 <input type="checkbox"/> 凍結融解胚移植
子宮内膜調整法	<input type="checkbox"/> 自然周期 <input type="checkbox"/> ホルモン調整周期 使用薬剤名 ()
オプション	<input type="checkbox"/> 胚盤胞培養 <input type="checkbox"/> アシステッドハッチング <input type="checkbox"/> 高濃度ヒアルロン酸培養液使用 <input type="checkbox"/> その他 ()
先進医療	<input type="checkbox"/> SEET法 <input type="checkbox"/> 子宮内膜スクラッチ <input type="checkbox"/> 二段階胚移植 <input type="checkbox"/> 子宮内細菌叢検査 <input type="checkbox"/> 子宮内膜受容能検査 <input type="checkbox"/> その他 ()
移植胚 <small>わかる範囲で記入しておきましょう</small>	移植個数： 個 移植ステージ：初期胚・胚盤胞・その他 () 移植グレード：
移植胚の状態	子宮内膜厚： mm 移植の難易度 { <input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 移植カテーテルの挿入困難 <input type="checkbox"/> 胚移植のやり直しがあった <input type="checkbox"/> その他 () }
現在保存している凍結胚	初期胚： 個 胚盤胞： 個 その他 ()： 個 【自由記載欄】※凍結胚のグレードなどをわかる範囲で記入しておきましょう
転帰	<input type="checkbox"/> 妊娠 <input type="checkbox"/> 非妊娠 <input type="checkbox"/> 生化学的妊娠 <input type="checkbox"/> 流産(妊娠 週) <input type="checkbox"/> 異所性妊娠 <input type="checkbox"/> 絨毛性疾患 <input type="checkbox"/> 出産 分娩日： 年 月 日(妊娠 週 日) 男児・女児 (g) 経膈分娩・帝王切開 児：異常なし・あり 母：妊娠中・分娩時の異常 なし・あり 【自由記載欄】
治療施設名	

胚移植の記録 ③

※胚移植を行った際に該当する箇所に○や☑を入れ、医師から説明された内容をできるだけ詳しく記入しておきましょう。書き方がわからない場合は医療機関の方に尋ねましょう。

※専門用語や治療法等でわからない内容があれば「患者さんのための生殖医療ガイドライン」(P.3)をご活用ください。

胚移植の年月日	年 月 日 (二段階胚移植の場合：2回目移植日 年 月 日)
支払いの区分	<input type="checkbox"/> 保険(これまでの移植回数 回) <input type="checkbox"/> 自費
胚移植	<input type="checkbox"/> 新鮮胚移植 <input type="checkbox"/> 凍結融解胚移植
子宮内膜調整法	<input type="checkbox"/> 自然周期 <input type="checkbox"/> ホルモン調整周期 使用薬剤名 ()
オプション	<input type="checkbox"/> 胚盤胞培養 <input type="checkbox"/> アシステッドハッチング <input type="checkbox"/> 高濃度ヒアルロン酸培養液使用 <input type="checkbox"/> その他 ()
先進医療	<input type="checkbox"/> SEET法 <input type="checkbox"/> 子宮内膜スクラッチ <input type="checkbox"/> 二段階胚移植 <input type="checkbox"/> 子宮内細菌叢検査 <input type="checkbox"/> 子宮内膜受容能検査 <input type="checkbox"/> その他 ()
移植胚 <small>わかる範囲で記入しておきましょう</small>	移植個数： 個 移植ステージ：初期胚・胚盤胞・その他 () 移植グレード：
移植胚の状態	子宮内膜厚： mm 移植の難易度 { <input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 移植カテーテルの挿入困難 <input type="checkbox"/> 胚移植のやり直しがあった <input type="checkbox"/> その他 () }
現在保存している凍結胚	初期胚： 個 胚盤胞： 個 その他 ()： 個 【自由記載欄】※凍結胚のグレードなどをわかる範囲で記入しておきましょう
転帰	<input type="checkbox"/> 妊娠 <input type="checkbox"/> 非妊娠 <input type="checkbox"/> 生化学的妊娠 <input type="checkbox"/> 流産(妊娠 週) <input type="checkbox"/> 異所性妊娠 <input type="checkbox"/> 絨毛性疾患 <input type="checkbox"/> 出産 分娩日： 年 月 日(妊娠 週 日) 男児・女児 (g) 経膈分娩・帝王切開 児：異常なし・あり 母：妊娠中・分娩時の異常 なし・あり 【自由記載欄】
治療施設名	

胚移植の記録 ④

※胚移植を行った際に該当する箇所に○や☑を入れ、医師から説明された内容をできるだけ詳しく記入しておきましょう。書き方がわからない場合は医療機関の方に尋ねましょう。

※専門用語や治療法等でわからない内容があれば「患者さんのための生殖医療ガイドライン」(P.3)をご活用ください。

胚移植の年月日	年 月 日 (二段階胚移植の場合：2回目移植日 年 月 日)
支払いの区分	<input type="checkbox"/> 保険(これまでの移植回数 回) <input type="checkbox"/> 自費
胚移植	<input type="checkbox"/> 新鮮胚移植 <input type="checkbox"/> 凍結融解胚移植
子宮内膜調整法	<input type="checkbox"/> 自然周期 <input type="checkbox"/> ホルモン調整周期 使用薬剤名 ()
オプション	<input type="checkbox"/> 胚盤胞培養 <input type="checkbox"/> アシステッドハッチング <input type="checkbox"/> 高濃度ヒアルロン酸培養液使用 <input type="checkbox"/> その他 ()
先進医療	<input type="checkbox"/> SEET法 <input type="checkbox"/> 子宮内膜スクラッチ <input type="checkbox"/> 二段階胚移植 <input type="checkbox"/> 子宮内細菌叢検査 <input type="checkbox"/> 子宮内膜受容能検査 <input type="checkbox"/> その他 ()
移植胚 <small>わかる範囲で記入しておきましょう</small>	移植個数： 個 移植ステージ：初期胚・胚盤胞・その他 () 移植グレード：
移植胚の状態	子宮内膜厚： mm 移植の難易度 { <input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 移植カテーテルの挿入困難 <input type="checkbox"/> 胚移植のやり直しがあった <input type="checkbox"/> その他 () }
現在保存している凍結胚	初期胚： 個 胚盤胞： 個 その他 ()： 個 【自由記載欄】※凍結胚のグレードなどをわかる範囲で記入しておきましょう
転帰	<input type="checkbox"/> 妊娠 <input type="checkbox"/> 非妊娠 <input type="checkbox"/> 生化学的妊娠 <input type="checkbox"/> 流産(妊娠 週) <input type="checkbox"/> 異所性妊娠 <input type="checkbox"/> 絨毛性疾患 <input type="checkbox"/> 出産 分娩日： 年 月 日(妊娠 週 日) 男児・女児 (g) 経膈分娩・帝王切開 児：異常なし・あり 母：妊娠中・分娩時の異常 なし・あり 【自由記載欄】
治療施設名	

胚移植の記録 ⑤

※胚移植を行った際に該当する箇所には○や☑を入れ、医師から説明された内容をできるだけ詳しく記入しておきましょう。書き方がわからない場合は医療機関の方に尋ねましょう。

※専門用語や治療法等でわからない内容があれば「患者さんのための生殖医療ガイドライン」(P.3)をご活用ください。

胚移植の年月日	年 月 日 (二段階胚移植の場合：2回目移植日 年 月 日)
支払いの区分	<input type="checkbox"/> 保険(これまでの移植回数 回) <input type="checkbox"/> 自費
胚移植	<input type="checkbox"/> 新鮮胚移植 <input type="checkbox"/> 凍結融解胚移植
子宮内膜調整法	<input type="checkbox"/> 自然周期 <input type="checkbox"/> ホルモン調整周期 使用薬剤名 ()
オプション	<input type="checkbox"/> 胚盤胞培養 <input type="checkbox"/> アシステッドハッチング <input type="checkbox"/> 高濃度ヒアルロン酸培養液使用 <input type="checkbox"/> その他 ()
先進医療	<input type="checkbox"/> SEET法 <input type="checkbox"/> 子宮内膜スクラッチ <input type="checkbox"/> 二段階胚移植 <input type="checkbox"/> 子宮内細菌叢検査 <input type="checkbox"/> 子宮内膜受容能検査 <input type="checkbox"/> その他 ()
移植胚 <small>わかる範囲で記入しておきましょう</small>	移植個数： 個 移植ステージ：初期胚・胚盤胞・その他 () 移植グレード：
移植胚の状態	子宮内膜厚： mm 移植の難易度 { <input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 移植カテーテルの挿入困難 <input type="checkbox"/> 胚移植のやり直しがあった <input type="checkbox"/> その他 () }
現在保存している凍結胚	初期胚： 個 胚盤胞： 個 その他 ()： 個 【自由記載欄】※凍結胚のグレードなどをわかる範囲で記入しておきましょう
転帰	<input type="checkbox"/> 妊娠 <input type="checkbox"/> 非妊娠 <input type="checkbox"/> 生化学的妊娠 <input type="checkbox"/> 流産(妊娠 週) <input type="checkbox"/> 異所性妊娠 <input type="checkbox"/> 絨毛性疾患 <input type="checkbox"/> 出産 分娩日： 年 月 日(妊娠 週 日) 男児・女児 (g) 経膈分娩・帝王切開 児：異常なし・あり 母：妊娠中・分娩時の異常 なし・あり 【自由記載欄】
治療施設名	

胚移植の記録 ⑥

※胚移植を行った際に該当する箇所には○や☑を入れ、医師から説明された内容をできるだけ詳しく記入しておきましょう。書き方がわからない場合は医療機関の方に尋ねましょう。

※専門用語や治療法等でわからない内容があれば「患者さんのための生殖医療ガイドライン」(P.3)をご活用ください。

胚移植の年月日	年 月 日 (二段階胚移植の場合：2回目移植日 年 月 日)
支払いの区分	<input type="checkbox"/> 保険(これまでの移植回数 回) <input type="checkbox"/> 自費
胚移植	<input type="checkbox"/> 新鮮胚移植 <input type="checkbox"/> 凍結融解胚移植
子宮内膜調整法	<input type="checkbox"/> 自然周期 <input type="checkbox"/> ホルモン調整周期 使用薬剤名 ()
オプション	<input type="checkbox"/> 胚盤胞培養 <input type="checkbox"/> アシステッドハッチング <input type="checkbox"/> 高濃度ヒアルロン酸培養液使用 <input type="checkbox"/> その他 ()
先進医療	<input type="checkbox"/> SEET法 <input type="checkbox"/> 子宮内膜スクラッチ <input type="checkbox"/> 二段階胚移植 <input type="checkbox"/> 子宮内細菌叢検査 <input type="checkbox"/> 子宮内膜受容能検査 <input type="checkbox"/> その他 ()
移植胚 <small>わかる範囲で記入しておきましょう</small>	移植個数： 個 移植ステージ：初期胚・胚盤胞・その他 () 移植グレード：
移植胚の状態	子宮内膜厚： mm 移植の難易度 { <input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 移植カテーテルの挿入困難 <input type="checkbox"/> 胚移植のやり直しがあった <input type="checkbox"/> その他 () }
現在保存している凍結胚	初期胚： 個 胚盤胞： 個 その他 ()： 個 【自由記載欄】※凍結胚のグレードなどをわかる範囲で記入しておきましょう
転帰	<input type="checkbox"/> 妊娠 <input type="checkbox"/> 非妊娠 <input type="checkbox"/> 生化学的妊娠 <input type="checkbox"/> 流産(妊娠 週) <input type="checkbox"/> 異所性妊娠 <input type="checkbox"/> 絨毛性疾患 <input type="checkbox"/> 出産 分娩日： 年 月 日(妊娠 週 日) 男児・女児 (g) 経膈分娩・帝王切開 児：異常なし・あり 母：妊娠中・分娩時の異常 なし・あり 【自由記載欄】
治療施設名	

**女性の年齢が生殖補助医療の開始日(治療計画日)において43歳未満の場合に
保険で治療を受けることができます。**

- 40歳未満は胚移植6回まで、40歳～43歳未満は胚移植3回までが保険適用です。
- 治療計画は、胚移植術の実施に向けた一連の診療過程ごとに作成します。
少なくとも6か月に1回以上、必要に応じて治療計画の見直しを行う必要があります。
- 治療は関係学会から示されているガイドライン等を踏まえ、治療を受けるカップル同席のうえ
治療方針について医師と十分に相談し、文書による同意が必要です。
また、同意を得た文書は診療録に添付されます。

※働く女性は「不妊治療連絡カード」を活用しましょう。

※妊娠や不妊治療についての悩みや不安がある方は、医療機関や性と健康の相談センター等に
相談しましょう。

予備欄

※検査データを貼ったり、気になったことを書き込んだりしておきましょう。

男性の健康状態・検査・治療

治療を受ける男性の健康状態等

医療機関を受診するまでに、ご自身で記入しておきましょう

身長	cm	心だんの体重	kg	結婚年齢	歳
BMI	BMI (体格指数) = 体重 (kg) ÷ 身長 (m) ÷ 身長 (m)				

●次の病気にかかったことはありますか。

あるものに○をつけ現在の治療や内服薬などがあれば記入しておきましょう。

該当に○	病名	発症や治癒の年月日			治療内容・使用薬剤	
	高血圧	発症	年	月	日	
		治癒	年	月	日	
	糖尿病	発症	年	月	日	
		治癒	年	月	日	
	慢性腎炎	発症	年	月	日	
		治癒	年	月	日	
	肝炎	発症	年	月	日	
		治癒	年	月	日	
	心臓病	発症	年	月	日	
		治癒	年	月	日	
	甲状腺の病気	発症	年	月	日	
		治癒	年	月	日	
	喘息	発症	年	月	日	
		治癒	年	月	日	
	精神疾患 (心の病気)	発症	年	月	日	
		治癒	年	月	日	
	その他病名	発症	年	月	日	
		治癒	年	月	日	
	その他病名	発症	年	月	日	
		治癒	年	月	日	
	その他病名	発症	年	月	日	
		治癒	年	月	日	
	風しん	罹患	年 (歳)			
	麻疹	罹患	年 (歳)			
	おたふく風邪 (流行性耳下腺炎、ムンプス)	罹患	年 (歳)			

●今までに入院 (不妊治療以外) したことがありますか。

入院期間		病名	治療	施設名
入院	年 月 日			
退院	年 月 日			
入院	年 月 日			
退院	年 月 日			
入院	年 月 日			
退院	年 月 日			

●今までに手術 (不妊治療以外) を受けたことはありますか。

手術の年月日	病名	術式
年 月 日		
年 月 日		
年 月 日		
年 月 日		

●今までに以下の項目で該当するものがあれば☑し、必要な内容は記入しておきましょう。

- アナフィラキシーショック
 注射や採血時の気分不良
 アレルギー (原因:)

●禁忌薬剤

使用できない薬剤があれば記入しておきましょう。また、薬剤を使用した時の病名もわかる範囲で記入しておきましょう。

薬剤名	症状	病名

- 栄養状態は問題ありませんか。 はい・いいえ
- 睡眠は十分にとれていますか。 はい・いいえ
- たばこを吸いますか。 はい（1日 本）・いいえ
- お酒を飲みますか。 はい（1日の量 ）・いいえ
- AGA治療薬を使用していますか。 はい・いいえ
- ED治療薬を使用していますか。 はい・いいえ
- ご自身の健康状態で気になることを記入しておきましょう。

男性の検査の記録

医療機関を受診して結果がでたら、ご自身で記入しておきましょう

※該当する箇所に☑を入れ、必要なところは記入をしておきましょう。
 ※書き方がわからない場合は医療機関の方に尋ねましょう。

一般検査

検査(実施)項目	検査(実施)年月日	結果	施設名
血液型	年 月 日	ABO 型/Rh ()	
風疹ウイルス抗体	年 月 日	<input type="checkbox"/> 抗体あり <input type="checkbox"/> 抗体なし 抗体価 (倍)	
風疹ワクチン接種	年 月 日		
HBs抗原	年 月 日	<input type="checkbox"/> 陽性 <input type="checkbox"/> 陰性	
	年 月 日	<input type="checkbox"/> 陽性 <input type="checkbox"/> 陰性	
HCV抗体	年 月 日	<input type="checkbox"/> 陽性 <input type="checkbox"/> 陰性	
	年 月 日	<input type="checkbox"/> 陽性 <input type="checkbox"/> 陰性	
梅毒血清反応	年 月 日	<input type="checkbox"/> 陽性 <input type="checkbox"/> 陰性	
	年 月 日	<input type="checkbox"/> 陽性 <input type="checkbox"/> 陰性	
HIV抗体	年 月 日	<input type="checkbox"/> 陽性 <input type="checkbox"/> 陰性	
	年 月 日	<input type="checkbox"/> 陽性 <input type="checkbox"/> 陰性	

memo ※その他の検査結果などを記入しておきましょう。

精液検査

検査日 施設名

年 月 日

	基準値 (WHO 2021年版)	結果
精液量	1.4mℓ	mℓ
精子濃度	16×10 ⁶ /mℓ	×10 ⁶ /mℓ
精子運動率	42%	%
直進運動精子率	30%	%
正常形態率	4%	%

検査日 施設名

年 月 日

	基準値 (WHO 2021年版)	結果
精液量	1.4mℓ	mℓ
精子濃度	16×10 ⁶ /mℓ	×10 ⁶ /mℓ
精子運動率	42%	%
直進運動精子率	30%	%
正常形態率	4%	%

検査日 施設名

年 月 日

	基準値 (WHO 2021年版)	結果
精液量	1.4mℓ	mℓ
精子濃度	16×10 ⁶ /mℓ	×10 ⁶ /mℓ
精子運動率	42%	%
直進運動精子率	30%	%
正常形態率	4%	%

検査日 施設名

年 月 日

	基準値 (WHO 2021年版)	結果
精液量	1.4mℓ	mℓ
精子濃度	16×10 ⁶ /mℓ	×10 ⁶ /mℓ
精子運動率	42%	%
直進運動精子率	30%	%
正常形態率	4%	%

検査日 施設名

年 月 日

	基準値 (WHO 2021年版)	結果
精液量	1.4mℓ	mℓ
精子濃度	16×10 ⁶ /mℓ	×10 ⁶ /mℓ
精子運動率	42%	%
直進運動精子率	30%	%
正常形態率	4%	%

検査日 施設名

年 月 日

	基準値 (WHO 2021年版)	結果
精液量	1.4mℓ	mℓ
精子濃度	16×10 ⁶ /mℓ	×10 ⁶ /mℓ
精子運動率	42%	%
直進運動精子率	30%	%
正常形態率	4%	%

ホルモン検査

検査年月日	LH (mIU/ml)	FSH (mIU/ml)	プロラクチン (ng/ml)	総テストステロン (ng/ml)	その他	施設名
年 月 日						
年 月 日						
年 月 日						
年 月 日						

染色体検査

検査年月日	検査結果	施設名
年 月 日	<input type="checkbox"/> 46,XY <input type="checkbox"/> それ以外 ()	

Y染色体微小欠失検査

※1人につき1回に限り保険で算定できます。

検査年月日	検査結果	備考/施設名
年 月 日	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> AZFa欠失 <input type="checkbox"/> AZFb欠失 <input type="checkbox"/> AZFb+c欠失 <input type="checkbox"/> AZFc欠失	備考 ----- 施設名

予備欄

※検査データを貼ったり、気になったことを書き込んだりしておきましょう。

男性の治療の記録

※該当する箇所に☑を入れ、必要なところは記入をしておきましょう。

※書き方がわからない場合は医療機関の方に尋ねましょう。

ホルモン療法

治療期間	治療内容	備考／施設名
年 月 日 ～ 年 月 日	<input type="checkbox"/> CC (クエン酸クロミフェン) <input type="checkbox"/> r-FSH製剤 <input type="checkbox"/> hCG製剤 <input type="checkbox"/> その他 ()	備考 ----- 施設名
年 月 日 ～ 年 月 日	<input type="checkbox"/> CC (クエン酸クロミフェン) <input type="checkbox"/> r-FSH製剤 <input type="checkbox"/> hCG製剤 <input type="checkbox"/> その他 ()	備考 ----- 施設名
年 月 日 ～ 年 月 日	<input type="checkbox"/> CC (クエン酸クロミフェン) <input type="checkbox"/> r-FSH製剤 <input type="checkbox"/> hCG製剤 <input type="checkbox"/> その他 ()	備考 ----- 施設名

精索静脈瘤

検査年月日	結果	方針	備考／施設名
年 月 日	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 右 <input type="checkbox"/> 左	<input type="checkbox"/> 経過観察 <input type="checkbox"/> 精索静脈瘤手術 (手術日 年 月 日)	備考 ----- 施設名
年 月 日	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 右 <input type="checkbox"/> 左	<input type="checkbox"/> 経過観察 <input type="checkbox"/> 精索静脈瘤手術 (手術日 年 月 日)	備考 ----- 施設名

精巣内精子回収術 (TESE)

手術年月日	術式	精子回収・凍結	備考／施設名
年 月 日	手術の方法 <input type="checkbox"/> TESE <input type="checkbox"/> マイクロTESE 手術した精巣 <input type="checkbox"/> 右精巣 <input type="checkbox"/> 左精巣	<input type="checkbox"/> 精子 (+) <input type="checkbox"/> 精子 (-) <input type="checkbox"/> 精子凍結	備考 ----- 施設名 本
年 月 日	手術の方法 <input type="checkbox"/> TESE <input type="checkbox"/> マイクロTESE 手術した精巣 <input type="checkbox"/> 右精巣 <input type="checkbox"/> 左精巣	<input type="checkbox"/> 精子 (+) <input type="checkbox"/> 精子 (-) <input type="checkbox"/> 精子凍結	備考 ----- 施設名 本
年 月 日	手術の方法 <input type="checkbox"/> TESE <input type="checkbox"/> マイクロTESE 手術した精巣 <input type="checkbox"/> 右精巣 <input type="checkbox"/> 左精巣	<input type="checkbox"/> 精子 (+) <input type="checkbox"/> 精子 (-) <input type="checkbox"/> 精子凍結	備考 ----- 施設名 本

薬剤メモ

男性不妊症に対する内分泌治療薬	商品名
CC (クエン酸クロミフェン)	錠剤 クロミッド
r-FSH製剤	ペン型注射 ゴナールエフペン
hCG製剤	注射 ゴナトロピン

予備欄

※検査データを貼ったり、気になったことを書き込んだりしておきましょう。

不育症

流産の記録

流産の経過と胎児染色体検査の結果

※医師から説明を受けた経過や処置をわかる範囲で記入をしておきましょう。

処置や検査は該当する箇所に☑を入れ、流産手術は受けた手術に○をつけましょう。

※書き方がわからない場合は医療機関の方に尋ねましょう。

流産年月日	経過	流産処置	胎児染色体検査の結果	施設名
年 月 日	妊娠 週 胎嚢(+-) 胎児心拍(+-)	<input type="checkbox"/> 処置なし <input type="checkbox"/> 流産手術 (掻爬術・MVA)	<input type="checkbox"/> 実施せず <input type="checkbox"/> 46,XX・46,XY <input type="checkbox"/> それ以外()	
年 月 日	妊娠 週 胎嚢(+-) 胎児心拍(+-)	<input type="checkbox"/> 処置なし <input type="checkbox"/> 流産手術 (掻爬術・MVA)	<input type="checkbox"/> 実施せず <input type="checkbox"/> 46,XX・46,XY <input type="checkbox"/> それ以外()	
年 月 日	妊娠 週 胎嚢(+-) 胎児心拍(+-)	<input type="checkbox"/> 処置なし <input type="checkbox"/> 流産手術 (掻爬術・MVA)	<input type="checkbox"/> 実施せず <input type="checkbox"/> 46,XX・46,XY <input type="checkbox"/> それ以外()	
年 月 日	妊娠 週 胎嚢(+-) 胎児心拍(+-)	<input type="checkbox"/> 処置なし <input type="checkbox"/> 流産手術 (掻爬術・MVA)	<input type="checkbox"/> 実施せず <input type="checkbox"/> 46,XX・46,XY <input type="checkbox"/> それ以外()	
年 月 日	妊娠 週 胎嚢(+-) 胎児心拍(+-)	<input type="checkbox"/> 処置なし <input type="checkbox"/> 流産手術 (掻爬術・MVA)	<input type="checkbox"/> 実施せず <input type="checkbox"/> 46,XX・46,XY <input type="checkbox"/> それ以外()	
年 月 日	妊娠 週 胎嚢(+-) 胎児心拍(+-)	<input type="checkbox"/> 処置なし <input type="checkbox"/> 流産手術 (掻爬術・MVA)	<input type="checkbox"/> 実施せず <input type="checkbox"/> 46,XX・46,XY <input type="checkbox"/> それ以外()	
年 月 日	妊娠 週 胎嚢(+-) 胎児心拍(+-)	<input type="checkbox"/> 処置なし <input type="checkbox"/> 流産手術 (掻爬術・MVA)	<input type="checkbox"/> 実施せず <input type="checkbox"/> 46,XX・46,XY <input type="checkbox"/> それ以外()	
年 月 日	妊娠 週 胎嚢(+-) 胎児心拍(+-)	<input type="checkbox"/> 処置なし <input type="checkbox"/> 流産手術 (掻爬術・MVA)	<input type="checkbox"/> 実施せず <input type="checkbox"/> 46,XX・46,XY <input type="checkbox"/> それ以外()	
年 月 日	妊娠 週 胎嚢(+-) 胎児心拍(+-)	<input type="checkbox"/> 処置なし <input type="checkbox"/> 流産手術 (掻爬術・MVA)	<input type="checkbox"/> 実施せず <input type="checkbox"/> 46,XX・46,XY <input type="checkbox"/> それ以外()	

不育症検査の記録

※該当する箇所に☑を入れ、必要なところは記入をしておきましょう。

※書き方がわからない場合は医療機関の方に尋ねましょう。

※不育症の検査や治療でわからない内容があれば「患者さんのための生殖医療ガイドライン」(P.3)をご活用ください。

子宮形態検査

検査年月日	検査法	結果	施設名
年 月 日	<input type="checkbox"/> 子宮卵管造影検査 <input type="checkbox"/> 経腔3D超音波検査 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 中隔子宮 <input type="checkbox"/> その他()	
年 月 日	<input type="checkbox"/> 子宮卵管造影検査 <input type="checkbox"/> 経腔3D超音波検査 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 中隔子宮 <input type="checkbox"/> その他()	

内分泌検査(甲状腺等)

検査項目/施設名	検査年月日/結果		施設名
甲状腺刺激ホルモン(TSH)	年 月 日	年 月 日	
	結果	結果	
甲状腺ホルモン (fT4(遊離サイロキシン))	年 月 日	年 月 日	
	結果	結果	
抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体 (抗TPO抗体)	年 月 日	年 月 日	
	結果	結果	
抗サイログロブリン抗体 (抗Tg抗体)	年 月 日	年 月 日	
	結果	結果	
	年 月 日	年 月 日	
	結果	結果	
	年 月 日	年 月 日	
	結果	結果	

抗リン脂質抗体検査

検査項目	検査年月日／結果		施設名
	年 月 日	年 月 日	
ループスアンチコアグulant	結果	結果	
抗カルジオリピン抗体IgG	結果	結果	
抗カルジオリピン抗体IgM	結果	結果	
抗β2GPI抗体IgG	結果	結果	
抗β2GPI抗体IgM	結果	結果	
	結果	結果	
	結果	結果	

memo ※その他の検査結果などを記入しておきましょう。

血栓症素因検査・自己抗体検査

検査項目	検査年月日／結果		施設名
	年 月 日	年 月 日	
プロテインS	結果	結果	
第Ⅷ因子凝固活性	結果	結果	
	結果	結果	
	結果	結果	
	結果	結果	

夫婦染色体検査 (Gバンド)

	検査年月日	検査結果	施設名
女性	年 月 日	<input type="checkbox"/> 46,XX <input type="checkbox"/> それ以外 ()	
男性	年 月 日	<input type="checkbox"/> 46,XY <input type="checkbox"/> それ以外 ()	

memo ※その他の検査結果などを記入しておきましょう。

不育症治療の記録

- ※受けた治療に○をつけ、該当項目には☑を入れて治療や使用した薬剤などがあれば記入をしておきましょう。
 ※書き方がわからない場合は医療機関の方に尋ねましょう。
 ※不育症の検査や治療でわからない内容があれば「患者さんのための生殖医療ガイドライン」(P.3)をご活用ください。

該当に○	治療	治療内容	施設名
	子宮形態異常に関する手術	<input type="checkbox"/> 中隔切除術 <input type="checkbox"/> その他 ()	
	抗リン脂質抗体症候群に対する治療	<input type="checkbox"/> 低用量アスピリン療法 <input type="checkbox"/> 未分画ヘパリン療法 <input type="checkbox"/> 併用療法 (低用量アスピリンと未分画ヘパリン)	
	抗リン脂質抗体症候群以外の不育症に対する治療	<input type="checkbox"/> 低用量アスピリン療法 <input type="checkbox"/> 未分画ヘパリン療法 <input type="checkbox"/> 併用療法 (低用量アスピリンと未分画ヘパリン)	
	着床前胚染色体異数性検査 (PGT-A)	採卵 年 月 (歳) <input type="checkbox"/> PGT-A実施回数 個 <input type="checkbox"/> 移植適 (A: 正倍数体) 個 <input type="checkbox"/> 移植準適 (B: モザイク) 個 <input type="checkbox"/> 移植不適 (C: 異数体) 個	
		採卵 年 月 (歳) <input type="checkbox"/> PGT-A実施回数 個 <input type="checkbox"/> 移植適 (A: 正倍数体) 個 <input type="checkbox"/> 移植準適 (B: モザイク) 個 <input type="checkbox"/> 移植不適 (C: 異数体) 個	
		採卵 年 月 (歳) <input type="checkbox"/> PGT-A実施回数 個 <input type="checkbox"/> 移植適 (A: 正倍数体) 個 <input type="checkbox"/> 移植準適 (B: モザイク) 個 <input type="checkbox"/> 移植不適 (C: 異数体) 個	

memo ※その他の治療内容などを記入しておきましょう。

研究者一覧

研究代表者

苛原 稔 徳島大学大学院医歯薬学研究部 産科婦人科学分野

研究分担者

高橋 俊文 福島県立医科大学 ふくしま子ども・女性医療支援センター
福原慎一郎 大阪大学大学院医学系研究科 器官制御外科学講座（泌尿器科学）
村上貴美子 蔵本ウイメンズクリニック
大須賀 穰 東京大学大学院医学系研究科 産婦人科学講座
森岡 久尚 徳島大学大学院医歯薬学研究部 公衆衛生学分野
岩佐 武 徳島大学大学院医歯薬学研究部 産科婦人科学分野

研究協力者

廣田 泰 東京大学大学院医学系研究科 産婦人科学講座
赤枝 俊 東京大学大学院医学系研究科 産婦人科学講座

研究協力施設

神谷レディースクリニック
HORACグランフロント大阪クリニック
大阪大学医学部附属病院
ミオ・ファティリティ・クリニック
アイブイエフ詠田クリニック
蔵本ウイメンズクリニック
医療法人聖命愛会 ART女性クリニック

不妊治療におけるカップルの検査や治療の記録

CONCEPTION NOTE

——— コンセプションノート ———

作成／発行 ● 令和5年度 こども家庭科学研究費補助金（旧 厚生労働科学研究費）
成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業（健やか次世代育成総合研究事業）
課題番号 21DA1003
「標準的な生殖医療の知識啓発と情報提供のためのシステム構築に関する研究」
— 患者記録形式の検討 —

研究代表者 ● 苛原 稔

発行日 ● 令和6年3月31日

連絡先 ● 〒770-8503 徳島県徳島市蔵本町3丁目18-15
国立大学法人徳島大学 苛原 稔
TEL：088-633-7177

令和5年度こども家庭科学研究費補助金
(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)
分担研究報告書

不妊治療の情報提供に関する研究

分担研究者 森岡 久尚 徳島大学大学院医歯薬学研究部公衆衛生学分野 教授
研究協力者 中川 和美 徳島大学大学院医歯薬学研究部公衆衛生学分野 大学院生
中川 舞 徳島大学大学院医歯薬学研究部公衆衛生学分野 大学院生
臣永 歩 徳島大学大学院医歯薬学研究部公衆衛生学分野 大学院生

(研究要旨) 不妊治療の情報入手に関しては、インターネットが主流となっている。妊娠・出産を経験していない若年女性(20代と30代)に対して、インターネットを含めたマスメディアの使用の実態と、それに応じて妊娠や不妊の知識を正確に得ることができているのかをカーディフ妊孕性知識尺度日本語版(CFKS-J)を活用して調査した。5,000人からの回答があり、CFKS-Jの平均点は、同じ年代を調査した先行研究と同程度の得点であった。また、CFKS-Jの平均点が高い因子として、年齢(30代)、既婚、インターネットの活用、婦人科受診歴がある(不妊治療以外)、挙児希望、性教育の受講歴などであった。一方で、CFKS-Jの質問のうち、男性不妊、女性の栄養、性感染症の項目の正答率が低かった。本研究の結果から、性教育や妊娠・出産経験者との交流に加えて、インターネットの利活用は妊娠・出産の正しい知識を得るための重要なツールであることが示唆された。妊娠・出産に関して、男性不妊、女性の栄養、性感染症の知識の一層の普及が必要であることが示唆された。

A. 研究目的

不妊治療の情報提供の公的な取組みは、1996年度からの不妊専門相談センター事業から始まる。近年、不妊治療の急速な普及やインターネット環境の整備など、不妊に関する情報のニーズは高まり、かつ情報収集の手段は多様化している。このような背景のもとで、本研究では、2021年度(令和3年度)から不妊治療の情報提供の実態を踏まえた望ましい情報提供のあり方を検討している。

2021年度(令和3年度)の調査では、ほぼすべての都道府県、政令市で不妊専門相

談センター事業が取り組まれているが、相談対応が中心であり不妊に関する情報提供にまでその役割を果たしているとは言い難い状況であった。そこで、2022年度(令和4年度)は不妊に悩む男女1,500名に対して、不妊に関する情報入手の実態についてWeb調査を行った。この調査では、不妊治療に関する最初の情報の入手先と、情報入手について最も活用した手段はインターネットの割合が最も高くなった。また、不妊治療に関する情報提供に関して不満をもつ者の割合は低く約1-2割であったが、特に男性よりも女性、最も活用した情報入手先が

インターネットである方が不満をもつ者の割合が高くなった。

不妊治療の情報提供に関しては、今後もインターネットが主流であり続けることが予測される。一方で、インターネットの利用により不妊に関して正しい情報が得られているのか、不妊に悩む方が求めている情報が得られているのか疑問が生じた。そこで、2023年度は、妊娠・出産を経験していない若年女性に対して、インターネットを含めたマスメディアの使用の実態と、それに応じて妊娠や不妊の知識を正確に得ることができているのかを中心に、Web調査を実施した。そして、インターネットを中心としてマスメディアを通じた有効な不妊の情報提供のあり方を考察した。

B. 研究方法

インターネットWeb調査会社にあらかじめ登録した全国の約200万人(18歳以上50歳未満の男女、子どもの有無を問わない)のうち、妊娠・出産を経験していない20歳以上40歳未満の女性で、調査への参加に同意した方(5,000人)を対象とした。なお、不妊に関して医学的知識を有すると考えられる医療従事者は除外した。

調査票(資料1)には、次の項目が含まれている。

・回答者の背景に関する項目:年齢、最終学歴、勤務形態、昨年の自身の年収、居住地、婚姻状況、喫煙歴、産婦人科受診歴、育児希望、周辺での妊娠・出産経験者の有無、性教育歴

・メディアの利用状況に関する項目:各メディアの平均利用時間(平日・休日別)

・インターネット利用状況に関する項

目:利用項目別の平均利用時間(平日・休日別)、利用するソーシャルメディア系サービス/アプリ(投稿・書き込みを含む)

・メディアの信頼度に関する項目:妊娠・出産に関する情報を得るために最も利用するメディア、各メディアの信頼度

また、調査票の妊娠・出産や不妊の知識の正確度に関する項目は、カーディフ妊孕性知識尺度日本語版を利用した。(資料2)カーディフ妊孕性知識尺度(Cardiff Fertility Knowledge Scale(CFKS))は、妊孕性知識を測定するためにBuntingらにより開発された。¹不妊の要因、妊孕性に関する誤解、妊孕性に関する知識の3領域で構成されており全13問からなる。回答は、「正しい」、「間違い」、「わからない」の3つがあり、その正答率(得点)が高いほど妊孕性知識水準が高いということになる。その後、CFKSの13問について、英語から日本語に翻訳されて、カーディフ妊孕性知識尺度日本語版(The Japanese version of the Cardiff Fertility Knowledge Scale(CFKS-J))として研究が実施されている。²

調査実施期間は、2024年1月9日から15日までである。調査票への入力により収集した情報には、個人情報を保護するため、氏名、生年月日、住所等の情報は含まない。本調査の実施計画は、徳島大学病院医学系研究倫理審査委員会において承認を得た。

(2023年12月18日、承認番号4468)参加の同意は、調査票の同意のチェックボックスに記入することにより得た。また、実施に当たっては、「人を対象とする生命科学・医学研究に関する倫理指針」(2021年3月23日、文部科学省・厚生労働省・経済産業省)を遵守した。統計解析に関しては、連続

変数は、その平均値と標準偏差を求めた。カテゴリ変数は、その割合（パーセンテージ）を算出した。

C. 研究結果

回答者（5,000人うち20代2,500人、30代2,500人）の基本的属性を表1に示す。インターネットの項目別の各メディアの利用時間を表2に示す。また、CFKS-Jの13問にすべてわからないと回答した者を除いて解析を行った。CFKS-Jの各問の年代別正答率を表3に示す。項目（因子）ごとの平均正答率と標準偏差を各年代別に表4に示す。

D. 考察

本研究では、全国の多数の若年女性を対象に、妊娠・出産や不妊の知識と、メディアの活用状況に加えて生活の状況等を調査することによって、妊娠・出産や不妊の正しい知識と関連する可能性があるものを明らかにした。CFKS-Jの平均点が高い因子として以下のものがあった。（表1）

- ・20代よりも30代の方が高い
- ・最も利用しているメディアはインターネット
- ・既婚者
- ・婦人科受診歴がある（不妊治療以外）
- ・育児希望がある
- ・性教育の受講歴がある（受講の記憶がある）
- ・友人の出産の経験がある
- ・身近な人の妊娠・出産経験がある

この結果からは、妊娠・出産の正しい知識を得るには、性教育が重要で、自身が産婦人科を受診したり、身近な人が妊娠・出産した

りした経験を有することも重要である可能性が示唆された。また、インターネットの活用は妊娠・出産の正しい知識の習得につながる可能性があることが示唆された。今後は、インターネットの使用方法や使用時間などの特徴と妊娠・出産の正しい知識の習得と関連がないか確認する予定である。

CFKS-Jの平均点は、同じ年代を調査した先行研究と同程度の得点であった。²（表2）年齢に関する質問の正答率は7割を上回っていた。（表2、問1）しかし、正答率が2割を切っている質問が2問あった。（表2、問9と問11）男性不妊と女性の肥満に関する項目である。また、性感染症に関する質問（表2、問13）の正答率も3割余りであった。今後は、このような項目（男性不妊、女性の栄養、性感染症など）の知識の普及を進めることを検討する必要がある。

妊娠・出産についての情報を得るために最も利用するメディアを質問したところ、その種の情報は必要ないと回答した割合は4割余りであった。（表1）また、育児希望について質問したところ、わからないと回答した割合が3割弱あった。若年女性の一定割合は、妊娠・出産について興味をもっていない可能性があることが示唆された。そのような方は妊娠・出産の知識の正確度も低くなる傾向が確認された。（表3）女性が自身の健康や妊娠・出産について考える機会をさらに増やすことも検討すべきではないかと考える。

本研究にはいくつかの限界が存在する。まず、インターネットWeb調査会社に登録した女性から、対象者を募った点である。インターネットを容易に利用できる環境にある者の傾向が表れている可能性がある。ま

た、無作為抽出ではなく、女性の健康や妊娠・出産に興味を持っている者が回答するなど選択バイアスが存在する可能性がある。次に、本研究は横断調査であり、因果関係は不明である。また、交絡因子の調整は今後行うこととしている。そのため、妊娠・出産の正しい知識の習得につながる因子は、多重解析などにより変わる可能性がある。今後さらなる解析を行い、明らかにしていく予定である。

E. 結論

本研究の結果から、性教育や妊娠・出産経験者との交流に加えて、インターネットの利活用は妊娠・出産の正しい知識を得るための重要なツールであることが示唆された。また、妊娠・出産に関して、男性不妊、女性の栄養、性感染症の知識の一層の普及が必要であることが示唆された。さらに、女性が自身の健康や妊娠・出産について、考える機会を増やすことも必要ではないかと考える。

F. 研究発表

1. 論文発表 なし
2. 学会発表 なし

G. 知的所有権の取得状況

1. 特許取得 該当なし
2. 実用新案登録 該当なし
3. その他 該当なし

H. 文献

1. Bunting L, Tsibulsky I, Boivin J. Fertility knowledge and beliefs about fertility treatment: findings from the

International Fertility Decision-making Study. Hum Reprod. 2013;28(2):385-397.

2. Maeda E, Sugimori H, Nakamura F, et al. A cross sectional study on fertility knowledge in Japan, measured with the Japanese version of Cardiff Fertility Knowledge Scale (CFKS-J). Reprod Health. 2015;12:10.

表1 回答者の基本的属性

	合計		20-29 歳		30-39 歳	
	n=5,000	%	n=2,500	%	n=2,500	%
年代						
20-29 歳	2,500	50.0	2,500	100.0	0	0.0
30-39 歳	2,500	50.0	0	0.0	2,500	100.0
最終学歴（通学中含む）						
中学校・高等学校	1,216	24.3	536	21.4	680	27.2
短期大学・高等専門学校	984	19.7	441	17.6	543	21.7
大学	2,507	50.1	1,377	55.1	1,130	45.2
大学院	217	4.3	112	4.5	105	4.2
その他	76	1.5	34	1.4	42	1.7
年収						
400 万円以上	860	17.2	325	13.0	535	21.4
202～399 万円	1,677	33.5	896	35.8	781	31.2
103～201 万円	724	14.5	320	12.8	404	16.2
102 万円以下	1,010	20.2	590	23.6	420	16.8
収入無し	729	14.6	369	14.8	360	14.4
勤務形態						
正社員・正規職員	2,206	44.1	1,121	44.8	1,085	43.4
派遣・契約・嘱託職員	433	8.7	176	7.0	257	10.3
パートタイム、アルバイト勤務	1,060	21.2	536	21.4	524	21.0
自営業	169	3.4	66	2.6	103	4.1
無職（※学生含む）	988	19.8	500	20.0	488	19.5
その他（※学生含む）	144	2.9	101	4.0	43	1.7
職業別分類						
会社経営	14	0.3	8	0.3	6	0.2
会社役員	17	0.3	12	0.5	5	0.2
会社員	2,419	48.4	1,165	46.6	1,254	50.2
公務員	185	3.7	100	4.0	85	3.4
教職員	99	2.0	56	2.2	43	1.7
自営業	133	2.7	51	2.0	82	3.3
その他（※学生含む）	824	16.5	344	13.8	480	19.2

就業していない（※学生含む）	1,309	26.2	764	30.6	545	21.8
婚姻状況						
未婚	4,075	81.5	2,192	87.7	1,883	75.3
既婚	925	18.5	308	12.3	617	24.7
喫煙歴						
喫煙中	424	8.5	176	7.0	248	9.9
喫煙歴あり（現在は喫煙なし）	352	7.0	150	6.0	202	8.1
喫煙歴無し	4,224	84.5	2,174	87.0	2,050	82.0
挙児希望						
はい	2,002	40.0	1,218	48.7	784	31.4
いいえ	1,583	31.7	642	25.7	941	37.6
わからない	1,415	28.3	640	25.6	775	31.0
婦人科受診歴						
はい	2,521	50.4	1,094	43.8	1,427	57.1
いいえ	2,479	49.6	1,406	56.2	1,073	42.9
性教育の受講経験						
あり	2,668	53.4	1,394	55.8	1,274	51.0
受講したが覚えていない	1,729	34.6	790	31.6	939	37.6
なし	603	12.1	316	12.6	287	11.5
親族の出産経験						
あり	1,768	35.4	668	26.7	1,100	44.0
なし	3,232	64.6	1,832	73.3	1,400	56.0
友人の出産経験						
あり	2,092	41.8	811	32.4	1,281	51.2
なし	2,908	58.2	1,689	67.6	1,219	48.8
身近な人の妊娠・出産経験						
あり	2,954	59.1	1,228	49.1	1,726	69.0
なし	2,046	40.9	1,272	50.9	774	31.0

利用するソーシャルメディア系サー
ビス／アプリ等

LINE

使用あり	4,552	85.0	2,202	88.1	2,050	82.0
使用なし	748	15.0	298	11.9	450	18.0

X (旧 : Twitter)

使用あり	3,274	65.5	1,747	61.1	1,527	61.1
使用なし	1,726	34.5	753	38.9	973	38.9

Facebook

使用あり	655	13.1	238	9.5	417	16.7
使用なし	4,345	86.9	2,262	90.5	2,083	83.3

Instagram

使用あり	3,452	69.0	1,915	76.6	1,537	61.5
使用なし	1,548	31.0	585	23.4	963	38.5

mixi

使用あり	86	1.7	27	1.1	59	2.4
使用なし	4,914	98.3	2,473	98.9	2,441	97.6

GREE

使用あり	46	0.9	26	1.0	20	0.8
使用なし	4,954	99.1	2,474	99.0	2,480	99.2

Mobage

使用あり	48	1.0	25	1.0	23	0.9
使用なし	4,952	99.0	2,475	99.0	2,477	99.1

Snapchat

使用あり	44	0.9	27	1.1	17	0.7
使用なし	4,956	99.1	2,433	98.9	2,483	99.3

TikTok

使用あり	1,223	24.5	801	32.0	422	16.9
使用なし	3,777	75.5	1,699	68.0	2,078	83.1

YouTube						
使用あり	3,792	75.8	1,940	77.6	1,852	74.1
使用なし	1,208	24.2	560	22.4	648	25.9
ニコニコ動画						
使用あり	463	9.3	217	8.7	246	9.8
使用なし	4,573	90.7	2,283	91.3	2,254	90.2
その他						
使用あり	27	0.5	11	0.4	16	0.6
使用なし	4,973	99.5	2,489	99.6	2,484	99.4
あてはまるものはない						
使用あり	238	4.8	108	4.3	130	5.2
使用なし	4,762	95.2	2,392	95.7	2,370	94.8
ソーシャルメディア系サービス／アプリ等で実際に書き込みや投稿するもの						
LINE						
書き込み・投稿あり	1,517	30.3	853	34.1	664	26.6
書き込み・投稿なし	3,483	69.7	1,647	65.9	1,836	73.4
X (旧：Twitter)						
書き込み・投稿あり	1,740	34.8	917	36.7	823	32.9
書き込み・投稿なし	3,260	65.2	1,583	63.3	1,677	67.1
Facebook						
書き込み・投稿あり	211	4.2	73	2.9	138	5.5
書き込み・投稿なし	4,789	95.8	2,427	97.1	2,362	94.5
Instagram						
書き込み・投稿あり	1,846	36.9	1,171	46.8	675	27.0
書き込み・投稿なし	3,154	63.1	1,329	53.2	1,825	73.0
mixi						
書き込み・投稿あり	37	0.7	12	0.5	25	1.0
書き込み・投稿なし	4,963	99.3	2,488	99.5	2,475	99.0

GREE

書き込み・投稿あり	20	0.4	13	0.5	7	0.3
書き込み・投稿なし	4,980	99.6	2,487	99.5	2,493	99.7

Mobage

書き込み・投稿あり	15	0.3	9	0.4	6	0.2
書き込み・投稿なし	4,985	99.7	2,491	99.6	2,494	99.8

Snapchat

書き込み・投稿あり	20	0.4	15	0.6	5	0.2
書き込み・投稿なし	4,980	99.6	2,485	99.4	2,495	99.8

TikTok

書き込み・投稿あり	182	3.6	125	5.0	57	2.3
書き込み・投稿なし	4,818	96.4	2,375	95.0	2,443	97.7

YouTube

書き込み・投稿あり	447	8.9	236	9.4	211	8.4
書き込み・投稿なし	4,553	91.1	2,264	90.6	2,289	91.6

ニコニコ動画

書き込み・投稿あり	71	1.4	39	1.6	32	1.3
書き込み・投稿なし	4,929	98.6	2,461	98.4	2,468	98.7

その他

書き込み・投稿あり	17	0.3	7	0.3	10	0.4
書き込み・投稿なし	4,983	99.7	2,493	99.7	2,490	99.6

あてはまるものはない

はい	1,834	36.7	762	30.5	1,072	42.9
いいえ	3,166	63.3	1,738	69.5	1,428	57.1

妊娠・出産についての情報を得るために最も利用するメディア

テレビ	499	10.0	244	9.8	255	10.2
ラジオ	17	0.3	13	0.5	4	0.2
新聞	33	0.7	19	0.8	14	0.6
雑誌	59	1.2	36	1.4	23	0.9

書籍	88	1.8	49	2.0	39	1.6
インターネット	2,122	42.4	1,095	43.8	1,027	41.1
その他	83	1.7	38	1.5	45	1.5
その種の情報は必要ない	2,099	42.0	1,006	40.2	1,093	43.7

各メディアの医療情報に対する信頼度

「テレビ」の医療情報に対する信頼度

非常に信頼できる	256	5.1	137	5.5	119	4.8
ある程度信頼できる	2,713	54.3	1,335	53.4	1,378	55.1
あまり信頼できない	1,049	21.0	536	21.4	513	20.5
全く信頼できない	292	5.8	158	6.3	134	5.4
この情報源を使用しない・知らない	690	13.8	334	13.4	356	14.2

「ラジオ」の医療情報に対する信頼度

非常に信頼できる	159	3.2	94	3.8	65	2.6
ある程度信頼できる	1,881	37.6	935	37.4	946	37.8
あまり信頼できない	984	19.7	531	21.2	453	18.1
全く信頼できない	265	5.3	142	5.7	123	4.9
この情報源を使用しない・知らない	1,711	34.2	798	31.9	913	36.5

「新聞」の医療情報に対する信頼度

非常に信頼できる	159	3.2	94	3.8	65	2.6
ある程度信頼できる	1,881	37.6	935	37.4	946	37.8
あまり信頼できない	984	19.7	531	21.2	453	18.1
全く信頼できない	265	5.3	142	5.7	123	4.9
この情報源を使用しない・知らない	1,711	34.2	798	31.9	913	36.5

「雑誌」の医療情報に対する信頼度

非常に信頼できる	162	3.2	91	3.6	71	2.8
ある程度信頼できる	1,935	38.7	933	37.3	1,002	40.1
あまり信頼できない	1,208	24.2	639	25.6	1,208	22.8
全く信頼できない	335	6.7	172	6.9	335	6.5
この情報源を使用しない・知らない	1,360	27.2	665	26.6	695	27.8

「インターネットニュースサイト」

の

医療情報に対する信頼度

非常に信頼できる	143	2.9	79	3.2	64	2.6
ある程度信頼できる	2,032	40.6	952	38.1	1,080	43.2
あまり信頼できない	1,794	35.9	930	37.2	864	34.6
全く信頼できない	430	8.6	228	9.1	202	8.1
この情報源を使用しない・知らない	601	12.0	311	12.4	290	11.6

「ソーシャルメディア」の医療情報

に対する信頼度

非常に信頼できる	98	2.0	59	2.4	39	1.6
ある程度信頼できる	1,506	30.1	755	30.2	751	30.0
あまり信頼できない	2,098	42.0	1,049	41.8	1,053	42.1
全く信頼できない	608	12.2	314	12.6	294	11.8
この情報源を使用しない・知らない	690	13.8	327	13.1	363	14.5

「ブログ・その他サイト」の医療情報

に対する信頼度

非常に信頼できる	122	2.4	75	3.0	47	1.9
ある程度信頼できる	1,413	28.3	678	27.1	735	29.4
あまり信頼できない	1,996	39.9	991	29.6	1,005	40.2
全く信頼できない	592	11.8	306	12.2	286	11.4
この情報源を使用しない・知らない	877	17.5	450	18.0	427	17.1

「動画配信・共有サイト」の医療情報

に対する信頼度

非常に信頼できる	109	2.2	60	2.4	49	2.0
ある程度信頼できる	1,405	28.1	734	29.4	671	26.8
あまり信頼できない	2,064	41.3	1,043	41.7	1,021	40.8
全く信頼できない	548	11.0	259	10.4	289	11.6
この情報源を使用しない・知らない	874	17.5	404	16.2	470	18.8

表2 各メディアとインターネット利用項目別の平均利用時間

	合計 <i>n</i> =5,000 avg(min)	20-29 歳 <i>n</i> =2,500 avg(min)	30-39 歳 <i>n</i> =2,500 avg(min)
各メディアの平均利用時間（平日／※休日の前日以外）			
テレビ（リアルタイム）視聴時間	76.50	63.46	89.53
テレビ（録画）視聴時間	33.95	31.12	31.12
インターネット利用時間	150.90	153.16	150.64
新聞閲読時間	3.62	3.10	4.13
ラジオ聴取時間	9.98	8.50	11.47
各メディアの平均利用時間（平日／※休日の前日）			
テレビ（リアルタイム）視聴時間	83.65	68.81	98.48
テレビ（録画）視聴時間	42.28	38.43	46.13
インターネット利用時間	166.76	168.19	165.33
新聞閲読時間	3.63	3.34	3.92
ラジオ聴取時間	9.27	8.09	10.45
各メディアの平均利用時間（休日）			
テレビ（リアルタイム）視聴時間	91.16	76.37	105.95
テレビ（録画）視聴時間	50.03	44.65	55.42
インターネット利用時間	180.74	181.96	179.53
新聞閲読時間	3.88	3.19	4.58
ラジオ聴取時間	9.00	8.30	9.69
インターネット利用項目別の利用時間（平日）			
メールを読む・書く	17.72	15.88	19.57
ブログやウェブサイトを見る／書く	33.60	26.86	40.34
ソーシャルメディアを見る／書く	49.58	54.64	44.53
動画投稿・共有サービス（YouTube、TikTok、ニコニコ動画など）を見る	68.75	74.22	63.28
VOD（Netflix、Amazon プライム、AbemaTV など）を見る	31.12	34.43	28.00
オンラインゲーム・ソーシャルゲームをする	23.05	21.11	25.00
ネット通話を使う	7.99	9.83	6.14

インターネット利用項目別の利用時間（休日）

メールを読む・書く	15.92	14.35	17.49
ブログやウェブサイトを見る／書く	35.13	27.64	42.62
ソーシャルメディアを見る／書く	54.26	59.88	48.65
動画投稿・共有サービス（YouTube、TikTok、ニコニコ動画など）を見る	82.20	87.04	77.37
VOD（Netflix、Amazon プライム、AbemaTV など）を見る	40.66	45.25	36.07
オンラインゲーム・ソーシャルゲームをする	27.26	25.79	28.74
ネット通話を使う	8.83	10.78	6.88

表3 CFKS-J の各問の年代別正答率

設問 No.	正答率[%]		
	全体 n=4,258	20-29 歳 n=2,103	30-39 歳 n=2,155
Q1	74.2	72.6	75.8
Q2	45.5	42.3	48.7
Q3	58.3	58.5	58.0
Q4	49.5	48.3	50.8
Q5	43.5	42.6	44.9
Q6	51.2	49.0	53.2
Q7	51.2	50.9	51.6
Q8	67.9	66.0	69.7
Q9	19.5	14.6	24.2
Q10	53.9	53.6	54.1
Q11	19.7	18.9	20.5
Q12	61.3	58.2	64.3
Q13	33.7	35.2	32.3

Q1-13 の設問ですべて「分からない」を選択した人数 n=742（20-29 歳：n=397、30-39 歳：n=345）を除く

表4 各因子におけるCFKS-Jの平均得点と標準偏差について

	全体		20-29歳		30-39歳	
	n=4,258		n=2,103		n=2,155	
	Avg	SD	Avg	SD	Avg	SD
Q1-13の正答率	5.62	2.895	5.45	2.842	5.78	2.937
最終学歴（通学中含む）						
中学校・高等学校	5.11	2.763	4.73	2.728	5.41	2.755
短期大学・高等専門学校	5.50	2.949	5.37	2.894	5.61	2.990
大学	5.82	2.911	5.68	2.828	5.99	3.000
大学院	6.58	2.690	6.39	2.642	6.78	2.738
その他	4.95	2.769	4.25	2.717	5.49	2.725
年収						
400万円以上	6.19	2.913	6.27	2.836	6.15	2.959
202～399万円	5.61	2.852	5.49	2.785	5.75	2.921
103～201万円	5.25	2.902	4.88	2.918	5.53	2.864
102万円以下	5.48	2.803	5.34	2.722	5.69	2.911
収入無し	5.46	3.005	5.23	2.895	5.69	3.015
勤務形態						
正社員・正規職員	5.81	2.902	5.69	2.846	5.94	2.953
派遣・契約・嘱託職員	5.46	2.764	5.25	2.690	5.60	2.809
パートタイム、アルバイト勤務	5.41	2.854	5.18	2.795	5.63	2.899
自営業	5.45	2.921	5.10	3.066	5.68	2.816
無職（※学生含む）	5.48	2.963	5.31	2.906	5.65	3.013
その他（※学生含む）	5.68	2.819	5.37	2.677	6.38	3.032
職業別分類						
会社経営	6.70	2.830	8.00	2.449	5.83	2.927
会社役員	4.67	2.839	4.63	2.134	4.75	4.349
会社員	5.72	2.883	5.54	2.816	5.87	2.935
公務員	6.15	3.007	6.24	3.120	6.04	2.886
教職員	5.98	2.696	6.10	2.703	5.83	2.713
自営業	5.55	2.921	5.09	3.006	5.84	2.847
その他（※学生含む）	5.36	2.849	5.11	2.819	5.53	2.862
就業していない（※学生含む）	5.49	2.926	5.30	2.828	5.75	3.042

妊娠・出産についての情報を得る**ために最も利用するメディア**

テレビ・ラジオ・新聞	5.34	2.708	5.16	2.663	5.53	2.747
雑誌・書籍	6.07	2.903	5.93	2.756	6.27	3.106
インターネット	6.13	2.800	5.98	2.744	6.29	2.852
その種の情報は必要ない	5.02	2.950	4.74	2.896	5.26	2.977
その他	5.49	2.895	5.30	2.613	5.69	2.847

婚姻状況

未婚	5.40	2.851	5.36	2.810	5.45	2.898
既婚	6.48	2.912	6.00	2.995	6.71	2.846

喫煙歴

喫煙中	5.41	2.857	5.41	2.819	5.41	2.893
喫煙歴あり（現在は喫煙なし）	5.76	2.856	5.36	2.800	6.04	2.869
喫煙歴無し	5.63	2.902	5.46	2.849	5.80	2.946

婦人科受診歴

あり	6.14	2.831	6.01	2.785	6.23	2.863
なし	5.00	2.849	4.94	2.798	5.08	2.914

挙児希望

はい	6.01	2.588	5.88	2.832	6.22	2.879
いいえ	5.46	2.918	5.09	2.802	5.69	2.968
わからない	5.17	2.852	4.87	2.758	5.41	2.903

性教育の受講経験

あり	5.99	2.878	5.81	2.861	6.20	2.885
受講したが覚えていない	5.25	2.839	5.12	2.727	5.37	2.900
なし	4.63	2.806	4.19	2.610	5.05	2.928

親族の出産経験

あり	5.91	2.890	5.90	2.816	5.92	2.936
なし	5.44	2.885	5.26	2.833	5.67	2.934

友人の出産経験

あり	5.89	2.841	5.69	2.729	6.02	2.903
----	------	-------	------	-------	------	-------

なし	5.39	2.920	5.32	2.894	5.50	2.954
身近な人の妊娠・出産経験						
あり	5.85	2.851	5.72	2.761	5.94	2.912
なし	5.23	2.927	5.14	2.902	5.38	2.965

Q1-13 の設問ですべて「分からない」を選択した人数 n=742 (20-29 歳 : n=397、30-39 歳 : n=345) を除く

質問票

質問		No	選択肢
問 1	年代を選択してください。	1	20-29 歳
		2	30-39 歳
問 2	ご自身の性別をお答えください。	1	男性
		2	女性
問 3	職業についてお答えください。	1	会社経営
		2	会社役員
		3	会社員
		4	公務員
		5	教職員
		6	自営業
		7	医療職
		8	その他の職業
		9	就業していない
問 4	ご自身の妊娠と出産のご経験についてお答えください。	1	妊娠および出産の経験がある
		2	妊娠・出産いずれの経験もない
問 5	ご自身の年齢についてお答えください。 / 歳		
問 6	本研究への参加に同意されますか。	1	はい
		2	いいえ
問 7-1	ご自身の最終学歴についてお答えください。	1	中学校・高等学校
		2	短期大学・高等専門学校
		3	大学
		4	大学院
		5	その他

問 7-2	ご自身の最終学歴についてお答えください。／その他		(自由記載)
問 8	ご勤務形態についてお答えください。	1	正社員・正規職員
		2	派遣・契約・嘱託職員
		3	パートタイム、アルバイト勤務
		4	自営業
		5	無職
		6	その他
問 8-2	ご勤務形態についてお答えください。／その他		(自由記載)
問 9	昨年のご自身の年収についてお答えください。	1	収入無し
		2	102万円以下
		3	103万円～201万円
		4	202万円～399万円
		5	400万円以上
問 10	居住地についてお答えください。	1	北海道
			(省略)
		47	沖縄県
問 11	婚姻状況について教えてください。	1	未婚
		2	既婚（離別・死別・事実婚を含む）
問 12	タバコを吸っていますか。あるいは吸ったことがありますか。	1	現在吸っている
		2	以前は吸っていたが、今は吸っていない
		3	吸ったことはない
問 13	婦人科を受診したことはありますか。	1	はい
		2	いいえ
問 14	将来、自分の子どもが欲しいですか。	1	はい

		2	いいえ
		3	わからない
問 15	自分の身近な方で妊娠・出産をご経験された方はおられますか。	1	自分の親族が妊娠・出産を経験した
		2	親しい友人が妊娠・出産を経験した
		3	身近にはいない
問 16	学校教育で妊娠・出産などの性教育を受けた経験はありますか。	1	学校で性教育を受けたことがある
		2	受けたことはあるが、内容については覚えていない
		3	学校で性教育を受けたことはない
問 17	各メディアの平均利用時間（平日／※休日の前日以外）について記入してください。／分		
問 17-1	テレビ（リアルタイム）視聴時間		0～1440 分の間、15 分単位で入力
問 17-2	テレビ（録画）視聴時間		0～1440 分の間、15 分単位で入力
問 17-3	ネット利用時間		0～1440 分の間、15 分単位で入力
問 17-4	新聞閲読時間		0～1440 分の間、15 分単位で入力
問 17-5	ラジオ聴取時間		0～1440 分の間、15 分単位で入力
問 18	各メディアの平均利用時間（平日／休日の前日）について記入してください。／分		
問 18-1 ～ 問 18-5	（問 17-1 から問 17-5 までの質問と同じ）		
問 19	各メディアの平均利用時間（休日）について記入してください。／分		
問 19-1 ～ 問 19-5	（問 17-1 から問 17-5 までの質問と同じ）		

問 20	インターネット利用項目別の利用時間（平日）について記入してください。／分		
問 20-1	メールを読む・書く		0～1440 分の間、15 分単位で入力
問 20-2	ブログやウェブサイトを見る・書く		0～1440 分の間、15 分単位で入力
問 20-3	ソーシャルメディアを見る・書く		0～1440 分の間、15 分単位で入力
問 20-4	動画投稿・共有サービス（Y o u T u b e、T i k T o k、ニコニコ動画など）を見る		0～1440 分の間、15 分単位で入力
問 20-5	VOD（N e t f l i x、A m a z o n プライム、A b e m a T V など）を見る		0～1440 分の間、15 分単位で入力
問 20-6	オンラインゲーム・ソーシャルゲームをする		0～1440 分の間、15 分単位で入力
問 20-7	ネット通話を使う		0～1440 分の間、15 分単位で入力
問 21	インターネット利用項目別の利用時間（休日）について記入してください。／分		
問 21-1 ～ 問 21-7	(問 20-1 から問 20-7 までの質問と同じ)		
問 22-1	利用するソーシャルメディア系サービス／アプリ等を選択してください。	1	L I N E
		2	X (旧 : T w i t t e r)
		3	F a c e b o o k
		4	I n s t a g r a m
		5	m i x i
		6	G R E E
		7	M o b a g e
		8	S n a p c h a t
		9	T i k T o k
		10	Y o u T u b e
		11	ニコニコ動画
		12	その他
		13	あてはまるものはない
問 22-2	利用するソーシャルメディア系サービス／アプリ等を選択してください。／その他		(自由記載)

問 23	利用するソーシャルメディア系サービス／アプリ等のうち、実際に書き込みや投稿するものを選択してください。	1	(問 22-1 の選択肢と同じ)
問 24	「妊娠・出産についての情報を得る」ために最も利用するメディアについて選択してください。	1	テレビ
		2	ラジオ
		3	新聞
		4	雑誌
		5	書籍
		6	インターネット
		7	その他
		8	その種の情報は必要ない
問 25	メディアの信頼度（医療情報について）をお伺いします。／「医療情報」について、「テレビ」が提供する情報は信頼できますか	1	非常に信頼できる
		2	ある程度信頼できる
		3	あまり信頼できない
		4	まったく信頼できない
		5	そもそもその情報源を使わない、知らない
問 26	メディアの信頼度（医療情報について）をお伺いします。／「医療情報」について、「ラジオ」が提供する情報は信頼できますか		(問 25 の選択肢と同じ)
問 27	メディアの信頼度（医療情報について）をお伺いします。／「医療情報」について、「新聞」が提供する情報は信頼できますか		(問 25 の選択肢と同じ)
問 28	メディアの信頼度（医療情報について）をお伺いします。／「医療情報」について、「雑誌」が提供する情報は信頼できますか		(問 25 の選択肢と同じ)
問 29	メディアの信頼度（医療情報について）をお伺いします。／「医療情報」について、「インターネ		(問 25 の選択肢と同じ)

	ットニュースサイト」が提供する情報は信頼できますか		
問 30	メディアの信頼度（医療情報について）をお伺いします。／「医療情報」について、「ソーシャルメディア」が提供する情報は信頼できますか		(問 25 の選択肢と同じ)
問 31	メディアの信頼度（医療情報について）をお伺いします。／「医療情報」について、「ブログ、その他のサイト」が提供する情報は信頼できますか		(問 25 の選択肢と同じ)
問 32	メディアの信頼度（医療情報について）をお伺いします。／「医療情報」について、「動画配信、動画共有サイト」が提供する情報は信頼できますか		(問 25 の選択肢と同じ)
問 33	カーディオ不妊知識尺度日本語版（全 13 項目）		
問 33-1	以下の問いに答えてください。／女性は 36 歳以降では妊娠する能力は落ちる	1	正しい
		2	間違い
		3	わからない
問 33-2	以下の問いに答えてください。／避妊をせずに 1 年間定期的にセックス（性交渉）をしても妊娠しない夫婦は不妊である。		(問 33-1 の選択肢と同じ)
問 33-3	以下の問いに答えてください。／タバコを吸う女性は妊娠する能力が落ちる。		(問 33-1 の選択肢と同じ)
問 33-4	以下の問いに答えてください。／タバコを吸う男性は不妊になりやすい。		(問 33-1 の選択肢と同じ)
問 33-5	以下の問いに答えてください。／約 10 組に 1 組の夫婦は不妊である。		(問 33-1 の選択肢と同じ)
問 33-6	以下の問いに答えてください。／精子が作れる男性は不妊ではない。		(問 33-1 の選択肢と同じ)
問 33-7	以下の問いに答えてください。／今日では、40 代の女性も 30 代の女性と同じくらいの確率で妊娠できる。		(問 33-1 の選択肢と同じ)
問 33-8	以下の問いに答えてください。／健康的な生活習慣の人は不妊ではない。		(問 33-1 の選択肢と同じ)

問 33-9	以下の問いに教えてください。／思春期以降におたふくかぜにかかった男性は、将来不妊になりやすい。	(問 33-1 の選択肢と同じ)
問 33-10	以下の問いに教えてください。／月経のない女性も妊娠できる。	(問 33-1 の選択肢と同じ)
問 33-11	以下の問いに教えてください。／標準体重より 13 キロ以上太っている女性は妊娠できないことがある。	(問 33-1 の選択肢と同じ)
問 33-12	以下の問いに教えてください。／勃起できる男性は不妊ではない。	(問 33-1 の選択肢と同じ)
問 33-13	以下の問いに教えてください。／性行為感染症にかかったことがある人は不妊になりやすい。	(問 33-1 の選択肢と同じ)

設問 No.	設問内容	正答
Q1	女性は36歳以降では妊娠する能力は落ちる。	正しい
Q2	避妊をせずに1年間定期的にセックス（性交渉）をしても妊娠しない夫婦は不妊である。	正しい
Q3	タバコを吸う女性は妊娠する能力が落ちる。	正しい
Q4	タバコを吸う男性は不妊になりやすい。	正しい
Q5	約10組に1組の夫婦は不妊である。	正しい
Q6	精子が作れる男性は不妊ではない。	間違い
Q7	今日では、40代の女性も30代の女性と同じくらいの確率で妊娠できる。	間違い
Q8	健康的な生活習慣の人は不妊ではない。	間違い
Q9	思春期以降におたふくかぜにかかった男性は、将来不妊になりやすい。	正しい
Q10	月経のない女性も妊娠できる。	間違い
Q11	標準体重より13キロ以上太っている女性は妊娠できないことがある。	正しい
Q12	勃起できる男性は不妊ではない。	間違い
Q13	性行為感染症にかかったことがある人は不妊になりやすい。	正しい

•妊孕性知識の評価：カーディフ不妊知識尺度日本語版を使用（全13項目）

•選択肢：「正しい」「間違い」「わからない」

•正解「1点」、不正解またはわからないを「0点」で評価（合計得点：0～13点満点）

令和5年度こども家庭科学研究費補助金
(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)
分担研究報告書

不妊治療に関する一般向けの情報提供資材の作成と標準的知識啓発システムの構築

研究分担者 岩佐 武 徳島大学大学院医歯薬学研究部産科婦人科学 教授

(研究要旨) 生殖医療に関する説明資材の作成ならびに有用な情報提供のあり方について検討した。その結果、資材を利用する際に要する時間や説明の明確性が特に重要であることが判明した。

A. 研究目的

生殖医療に関連する説明資材の利用状況や利用者からの意見を分析することで、より効果的な資材のあり方や運用方法について検討した。

B. 研究方法

生殖補助医療の技術の一つである、着床前胚染色体異数性検査に関する説明動画の利用状況とそれに対する意見について分析した。また、体外受精を検討しているカップルに対する説明動画の利用状況から、説明資材の有用性や課題点を抽出した。本研究について、特別倫理面に配慮する内容に含まれていない。

(倫理面への配慮)

本検討は患者情報を取り扱うものではないため、倫理的問題点は発生しない。

C. 研究結果

一連の検討によって、これらの資材には一定の有用性が認められること、動画については短時間におさめることが重要である

こと、内容については曖昧性を避ける必要があることが判明した。

D. 考察

生殖医療に関して複数の情報提供資材が存在するが、その内容および質については様々で、中には混乱を招くような情報が含まれている場合もある。また、このような資材について、利用者からのフィードバックを得ているものはごく少数にとどまる。今回の検討結果から、利用者がこれらの資材に求めているものが明確化され、今後の修正に向けて有用な知見を得ることができた。これらの情報を広く周知することで、より質の高い説明資材が提供されることが望まれる。

E. 結論

適切な説明資材にあり方が明らかとなった。また、説明資材について利用者からのフィードバックが重要であることが判明した。

F. 研究発表

1. 論文発表 なし
2. 学会発表 なし

G. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得 該当なし
2. 実用新案登録 該当なし
3. その他 該当なし

令和5年度こども家庭科学研究費補助金
(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)
分担研究報告書

本邦の配偶子、胚管理に関する関連4学会による統一提言作成

研究分担者 寺田幸弘 秋田大学 教授

研究要旨

2022年4月から不妊治療が保険適用となり、保険適用の範囲が定められたこと及び、生殖医療ガイドラインの活用などにより、治療内容については全国的にも標準化が進んでいる。一方で、不妊治療において重要な配偶子・胚の取り扱い、培養の実務を担う胚培養士の業務・資質・要件などについては、関連学会のコンセンサスが得られていない状況であった。本邦の配偶子、胚管理の質向上のためには、配偶子・胚を培養室において取り扱う胚培養士に関する実態の把握が必要であり、2022年度に全国の不妊治療施設に胚培養士業務に関するアンケートを実施し、本年度はアンケート結果を解析した上で、胚培養士の業務・資質・要件に関する提言案を作成した。同提言は、本邦の胚培養士業務に関連する4学会からの承認を得たほか、2024年度診療報酬改定における中央社会保険医療協議会での議論で活用された。また、提言作成過程で抽出された培養室運営、胚培養士業務などに関する課題は、今後の本邦における配偶子・胚管理の質向上において解決するべきものであり、さらなる議論、検討が望まれる。

A. 研究目的

2022年4月より不妊治療の多くが保険適用となり、生殖医療ガイドラインの発刊等により医療技術については一定の標準化が整うこととなった。一方で不妊治療、生殖補助医療において極めて重要な配偶子、胚の取扱いや、培養室運営、それらの業務を担う胚培養士、エンブリオロジストに関しては業務範囲を含めて標準化がなされていない状況であった。今回胚培養に関する質の均てん化および今後のさらなる改善を目的に、配偶子、胚管理において重要な胚培養士の業務・資質・要件に関する提言作成を目指した。

本年度は令和4年(2022年)度実施された胚培養士業務に関するアンケート結果をもとに、胚培養士の業務範囲を明らかにし、今後の胚培養士教育、認定および、診療報酬改定への利活用を見据えた提言の作成を目的とした。また同提言を今後の実臨床などで有効に活用するため、不妊治療、胚培養士業務に関連する4学会(日本産科婦人科学会、日本生殖医学会、日本卵子学会、日本臨床エンブリオロジスト学会)の承認を得ることも本年度の目的とした。

B. 研究方法

関連4学会の代表各2名および秋田大学産婦人科から3名が研究分担者として、2022年(令和4年)度に引き続き研究に参加した。2022年度に日本産科婦人科学会の生殖補助医療(assisted reproductive technology, ART)登録608施設にGoogleフォームを用いたアンケートを実施しており、本年度は回答を得た417施設(68.6%)のデータを解析した。アンケートでは研究班が胚培養士業務として実施されている可能性があるかと想定した140項目業務について、胚培養士が実施しているか、はい・いいえ・施設として未実施、の3択で回答を得た。417施設の中で、はい、と回答があった施設の割合を業務実施率とした。胚培養士業務は、研究班によってART業務(54項目)、add-ons業務(28項目)、培養室管理業務(25項目)、患者対面業務(24項目)、その他(9項目)に分類された。またアンケートでは採卵周期数と融解胚移植周期数の合計を各施設のサイクル数としており、今回417施設の中央値である615サイクルから、601サイクル以上をHigh volume群(213施設)、600サイクル以下をLow volume群(204施設)と設定し、追加解析を実施した。

本アンケート解析結果を踏まえ、関連4学会の代表者を中心に研究班で胚培養士の業務・資質・要件に関する討議を行い、エキスパートオピニオンとして提言作成を実施した。

倫理面への配慮

本研究は各施設の実態に関するアンケートの解析であり、倫理委員会の承認を要する研究ではなかった。

C. 研究結果

胚培養士業務アンケート回答者の属性は、417施設中、医師が42施設(10.1%)、胚培養士が374施設(89.7%)、不明が1施設(0.2%)であった。また、業務実施率が90%以上の業務は34項目(24.3%)であり、ART業務(38.9%)、add-ons業務(3.6%)、培養室管理業務(40%)、患者対面業務(0%)、その他(22.2%)であり、5群間の実施率には統計学的に差を認めた($p < 0.001$)。業務実施率10%以下の業務は33項目(23.6%)であり、ART業務(1.1%)、add-ons業務(39.3%)、培養室管理業務(20%)、患者対面業務(45.8%)、その他(0%)であり、5群間の実施率には統計学的に差を認めた($p < 0.001$)。実施率が50%以下の業務は79項目(56.4%)あり、内訳はART業務(38.9%)、add-ons業務(89.3%)、培養室管理業務(32.0%)、患者対面業務(95.8%)、その他(22.2%)であり、add-ons業務、患者対応業務で有意に多い結果であった。一方で、実施率50%以下の業務で、High volume群とLow volume群において業務実施率に有意差を認めた項目は22項目(27.8%)であった。High volume群で実施率が有意に高い項目は18項目あり、その内14項目がadd-ons業務であった。

上記アンケート結果から本邦の実態を踏まえ、胚培養士の業務・資質・要件に関する議論を行った。2023年5月に研究班で提言第1案を作成し、同案について関連4学会より意見を募った後、2023年7月に行われた第1回班会議で提言第1案の修正について再度議論を行った。2023年8月に提言第2案が作成され、再度関連4学会による検討が行われた。2023年8月に行われた第2回班会議で議論が行われ提言第3案(最終案)が作成された。同案は2023年9月に各学会による承認を得た後に、研究班から厚生労働省へ下記提案が提出された。

関連4学会の承認を得た、胚培養士の業務・資質・要件に関する提案

業務：胚培養士が医師の監督下に行い得る業務としては以下が挙げられる。

- ・一般不妊治療及び生殖補助医療における、人工授精、体外受精、顕微授精、胚移植などを目的とした、配偶子、受精卵、胚などの取り扱い、及びこれらの凍結、融解などの操作
- ・医師による配偶子、受精卵、胚の評価、検査及び説明などの補助
- ・培養室、採精室、移植室などの施設における機器および器具の準備、及び保全
- ・培養室業務に関連する文書の記録、作成、管理

資質：医師の監督下に胚培養士として業務を行う者は、資質として以下が求められる。

- ・一般不妊治療、生殖補助医療に関する十分な知識を有すること。具体的には、以下のいずれかに該当すること。
 - 1) 大学または大学院にて医学、農学、生物学等を修得した学士、修士、博士
 - 2) 1)と同等の知識と研修を行ったと考えられる臨床検査技師等
- ・一般不妊治療、生殖補助医療における胚培養等の業務について、適切な監督の下で1年以上の実務経験を有すること。
- ・一般不妊治療、生殖補助医療に対して高い倫理観と品位および知識を有すること。

要件：胚培養士の資質を満たすため、以下の資格の保持等の要件を満たすことが望ましい。

- ・日本卵子学会認定生殖補助医療胚培養士、日本臨床エンブリオロジスト学会認定臨床エンブリオロジストもしくは、これらの統一後の認定資格を保持すること。
- ・その他、以下の双方を満たすこと。
 - 1) 日本産科婦人科学会のART実施登録施設において、実施責任者の監督の下に、1年以上、ヒト配偶子、受精卵、胚の操作・取り扱い、培養液の作成、器具の準備、採卵室などの施設管理、保全などの一切を実際に行い、ヒト体外受精・胚移植のラボワークの全ての行程を本人が最低30例以上実施していること
 - 2) 日本卵子学会および日本臨床エンブリオロジスト学会の統一生殖補助医療胚培養士認定資格を取得するために必要とする講習会、学術集会に参加していること

上記提案は2024年2月に関連4学会へ送付され、各学会のホームページなどへ掲載された。

D. 考察と結論

今回の我々の研究によって、日本の胚培養士の業務範囲の実態が初めて明らかになった。胚培養士の業務は培養室内外において多岐にわたる。一方で、High volume群とLow volume群の比較において実施率に有意差を認めた項目があったように、各施設間によって胚培養士の業務範囲は異なっている。特に、417施設全体では実施率が低い、胚培養士割合が高い業務がadd-ons業務で複数認められた。High volume群においてadd-onsの導入率がより高いことが想定される。近年、ARTにおいて、培養室における胚培養士の人員数、作業レベルの管理がARTの成績に影響を与えることが報告されている。しかし、国の管理によって、胚培養士の業務範囲の規程が行われているのはイギリス、フランスなど欧州でも僅かな国々のみであり、日本を含めて多くの国では各国の生殖医学会などの民間団体が資格認定を行っており、業務範囲は明確に規定されていない。医療スタッフが少ないLow-volume施設などでは、胚培養士として雇われているスタッフが、他の医療スタッフ業務をカバーしている可能性があり、我々の今回のアンケート結果にも影響を与えている可能性がある。今回の我々のアンケート結果は、今後の国家資格化を見据えた教育システムやカリキュラムの構築に際して重要であると考えられる。また、今回の我々のアンケートで挙げられた胚培養士業務以外にも、将来的には新たなadd-onsの登場により、胚培養士業務の拡大が想定される。

本年度作成された、胚培養士の業務・資質・要件に関する提案は、不妊治療に関連する主要4学会の代表者等により、学会横断的に作成され、各学会の承認を得た、初めての胚培養士に関する提案である。2022年4月より不妊治療の多くが保険診療となった現状において、胚培養士が不妊治療の臨床現場で果たす役割は今後も増すと考えられる。その中で、主要関連4学会において、胚培養士の業務・資質・要件に関するコンセンサスが形成されたことは非常に有意義であったと考えられる。また、同提案は2024年度診療報酬改定に際しては中央社会保険医療協議会の資料としても上程されており、社会医学的にも有効な活用が期待され

る。

本年度は2024年1月にも第3回班会議が実施され、配偶子、胚管理および胚培養士に関する課題について議論された。エキスパートオピニオンとして、今後の課題として挙げられたものは、胚培養士資格について(国家資格化、診療報酬上の取り扱い、教育体制、非資格者の取り扱い)、胚培養士業務について(医師法など法律との関連、他業種の業務範囲を踏まえた場合に胚培養士業務として適しているか、有資格者と非資格者の業務範囲設定)、胚培養士待遇について(地域差、キャリア形成、非正規雇用)など多岐に渡った。これらの課題に関する議論は今後も進めていく必要があり、また一つの学会のみでは解決、提案が困難なものが多いため、複数の学会による学会横断的な取り組みが不可欠である。

本年度は胚培養士業務アンケート解析、提言作成、今後の課題抽出など現状の課題について多角的に検討を行った。配偶子、胚培養に関して今後の改善を図るためには胚培養士に関する検討が不可欠であるが、保険制度が異なる国外の状況はあくまで参考に留まるため、本邦の実態、現状を正確に捉える必要がある。そのためには今回の研究班の様な、学会横断的な議論、コンセンサス形成が不可欠であり、今回抽出された上述の課題に関しても継続した議論を続けることが重要である。

E. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表等

白澤弘光、岡田英孝、沖津撰、木村正、木村直子、久慈直昭、高橋和政、高橋俊文、寺田幸弘、長谷川久隆、福永憲隆。「関連4学会による胚培養士業務全国調査から得られた胚培養士業務実施率に関する検討」第68回日本生殖医学会学術講演会、石川県金沢市、ホテル日航金沢（2023年11月10日）

F. 知的財産権の出願・登録状況

なし

別資料 1. 胚培養士業務実施率

胚培養士業務	実施率 (%)	胚培養士業務	実施率 (%)
精子調整	98.8	精巣組織の処理	38.8
凍結タンクの管理・監視	98.6	バイオプシーの実施	38.6
培養液・培養ディッシュの準備	98.6	各種検体(未受精卵、精子、SEET 液など)移送の患者説明(承諾書受け取り)	36.2
受精確認	98.3	アシステッドハッチング実施の決定	36
胚形態評価	98.3	ART 実施後の結果個別説明	34.8
卵胞液からの卵子の同定(検卵)	98.1	移植胚の決定	33.8
胚融解の実施	98.1	融解胚の決定	30.7
培養室消耗品の管理・発注	97.8	採卵術器械出し	28.8
媒精の実施	97.8	卵子活性化処理実施の決定	28.3
胚凍結の実施	97.8	胚移植術器械出し	27.1
卵子の裸化	97.1	ガスボンベの交換	26.9
配偶子、胚に関するダブルチェック	96.9	ART の概略の説明	26.9
顕微授精の実施	96.9	卵子体外成熟培養の実施	26.4
凍結胚の廃棄の実施	96.6	精子凍結本数の判断	26.1
胚融解後の生存評価	96.4	精子凍結保存実施の判断	25.9
注入する精子の選別	96.1	画像解析システムによる計数・定量判定補助 (スコアリング等)	25.7
培養室消耗品(培養液、dish など) の検討	95.7	移植外筒内への移植カテーテル挿入 (移植カテーテルは外筒を超え子宮内に位置)	25.4
精子融解の実施	95.7	追加胚融解の決定	25.4
精液検査	95.4	手術室での精巣組織の受け取り	24.5
液体窒素の発注	95.4	手術室から精巣組織の移動(同一施設内)	24.5
精子凍結の実施	95.2	凍結胚廃棄決定	24.2
凍結配偶子の廃棄の実施	95	凍結配偶子廃棄決定	23.7

人工授精用精子調整	94.2	バイオプシー実施胚の決定	22.8
台帳（紙もしくはデジタル）への記載・入力	94	診療中のカルテ記載補助業務	21.3
冷蔵庫温度管理	94	超音波機器操作補助	19.9
マニュアル作成	93.8	ポンプ採卵の場合の吸引器からのスピッツ管の交換	19.7
移植後のカテーテル内の胚遺残確認	93.3	他施設からの精巣組織の運搬	18.2
卵子の成熟に対する ICSI 実施の判断	92.6	カウンセリング	16.3
培養室機器の検討	91.8	胚移植室への誘導	16.3
培養液等の変更の検討（胚培養液、凍結液など）	91.1	精液検査説明	15.8
ガスポンベの管理	90.9	卵胞フラッシュでのプッシュアウト	15.1
新人への技術指導	90.9	ART 関連検査同意書の取得	14.4
胚の移植カテーテルへのローディング	90.4	手引き採卵の場合の採卵針からの注射器交換	14.1
アシステッドハッチングの実施	90.2	精子凍結実施の決定	13.9
移植カテーテルの胚移植室への移動	89.4	染色標本作成・検鏡	13.2
卵子の形態異常に対する ICSI 実施の判断	88	卵子体外成熟培養の決定	12.2
臨床データ解析業務	84.9	採取血液の遠心分離	10.6
液体窒素の補充	84.9	胚移植実施の決定	9.6
UMIN 登録	84.2	血液細胞(幹細胞等)処理業務	9.4
患者の本人確認(採卵時・移植時など)	82.7	卵子凍結実施の決定	8.2
培養結果などの医療記録(カルテ)への記載	82.5	移植胚数の決定	7.7
培養室消耗品(培養液、dish など) の決定	81.1	卵巣組織凍結の実施	7.7
胚移送(発送、受け取り)	80.1	再バイオプシー実施の決定	7.4
症例ごとの媒精濃度の決定	77.5	患者への問診	7
中堅への人材育成指導	76.7	摘出卵巣の運搬	6.9
移植カテーテルを通じた胚の注入	76.3	病歴(予診)聴取	6.7
卵子活性化処理の実施	75.1	採卵室への患者の誘導	6.7

異常受精卵の継続培養の判断	73.1	卵巣組織の切り出し処理	6.7
培養器メンテナンス(温度、ガス濃度測定など)	72.2	ART 関連薬剤指導	6.7
各種検体(未受精卵、精子、SEET 液など)移送(発送、受け取り)	71.5	摘出卵巣から未成熟卵子の回収	6.5
培養室運営管理指導	69.5	手術室での卵巣の受け取り	6
培養液交換の実施	61.9	胚移植日の決定	5.5
移植カテーテルを通じた培養液の注入	61.2	自家製融解液(胚用)の作成	5.5
卵子凍結の実施	59.5	採卵時のドレープがけ	5
凍結胚の決定	59	内膜受容能検査説明	4.8
卵胞液移動(採卵室から培養室)	58.8	卵巣組織融解の実施	4.6
タイムラプスによる動的評価	56.4	自家製凍結液(胚用)の作成	3.8
卵子融解の実施	56.1	ホルモン検査説明	3.6
培養室機器の決定	54.9	自家製培養液の作成	3.6
研究発表	54.7	自家製凍結液(配偶子用)の作成	3.6
融解する精子の決定	50.8	自家製融解液(配偶子用)の作成	3.6
自治体への提出資料の作成	47.2	胚移植時のドレープがけ	2.9
媒精方法の決定	47.2	ROSI(円形精子細胞卵子内注入)における注入する精子の選別	2.9
卵子紡錘体評価	44.1	胚移植時の患者の消毒	2.6
移植外筒内への移植カテーテル挿入(移植カテーテル位置は外筒内までにとどまる)	43.6	患者バイタル確認	1.9
融解する卵子の決定	43.6	採卵時の患者の消毒	1.9
バックアップ電源稼働定期確認と管理	43.4	移植外筒の子宮内挿入	1.7
胚移送の患者説明(承諾書受け取り)	42.4	DNA 増幅処理	0.24
各種同意書の確認	42.2	検査結果からの判定	0.24
精子有無・生存性の判断	39.3	異数性解析	0

研究成果の刊行に関する一覧表レイアウト

書籍 刊行なし

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Takeshige Y, Jwa SC, Hirota Y, Osuga Y, Kuramoto T, Mio Y, Furui K, Kinutani M, Shiotani M, Asada Y, Kamiya H, Yoshida H, Igarashi H, Kyono K.	Clinical outcomes of personalized blastocyst embryo transfer after endometrial receptivity analysis: A multicenter, retrospective cohort study.	Reprod Med Biol.	29;22(1)	e12550	2023
Katagiri Y, Jwa SC, Kuwahara A, Iwasa T, Ono M, Kato K, Kishi H, Kuwabara Y, Taniguchi F, Harada M, Iwase A, Osuga Y.	Assisted reproductive technology in Japan: A summary report for 2021 by the Ethics Committee of the Japan Society of Obstetrics and Gynecology.	Reprod Med Biol.	30;23(1)	e12552	2023
Fukui Y, Hirota Y, Aikawa S, Sakashita A, Shimizu-Hirota R, Takeda N, Ishizawa C, Iida R, Kaku T, Hirata T, Hiraoka T, Akaeda S, Matsuo M, Osuga Y.	The EZH2-PRC2-H3K27me3 axis governs the endometrial cell cycle and differentiation for blastocyst invasion.	Cell Death Dis.	18;14(5)	320	2023
Hiraoka T, Osuga Y, Hirota Y	Current perspectives on endometrial receptivity: A comprehensive overview of etiology and treatment.	J Obstet Gynaecol Res.	49(10)	2397-2409	2023
Mitake S, Wada-Hiraike O, Kashiwabara K, Nakamura A, Nasu R, Hine M, Matsuyama Y, Fujii T, Osuga Y	Distribution of the follicular and luteal phase lengths and their age-dependent changes in Japanese women: A large population study.	Reprod Med Biol	12;22(1)	e12516	2023
Harada S, Yamada M, Shirasawa H, Jwa SC, Kuroda K, Harada M, Osuga Y.	Fact-finding survey on assisted reproductive technology in Japan.	J Obstet Gynaecol Res.	49(11)	2593-2601	2023

Hosoya S, Piedvache A, Nakamura A, Nasu R, Hine M, Itoi S, Yokomizo R, Umezawa A, Hiraike O, Koga K, Osuga Y, Narumi S, Morisaki N	Prolongation of the Menstrual Cycle After Receipt of the Primary Series and Booster Doses of mRNA Coronavirus Disease 2019 (COVID-19) Vaccination.	Obstet Gynecol.	143(2)	284-293	2024
Nose-Ogura S, Yoshino O, Kamoto-Nakamura H, Kanatani M, Harada M, Hiraike O, Saito S, Fujii T, Osuga Y.	Age and menstrual cycle may be important in establishing pregnancy in female athletes after retirement from competition.	Phys Sportsmed.	52(2):	175-180	2024
Chiba Y, Nose-Ogura S, Sekiguchi K, Eda K, Nakamura H, Koshimizu T, Yamamoto H, Yamaguchi T, Harada M, Wada-Hiraike O, Osuga Y.	Development of University of Tokyo's eating disorders inventory in female athletes.	J Obstet Gynaecol Res.	49(7)	1854-1866	2023
Ono M, Harada M, Horie A, Dai Y, Horiguchi I, Kikuchi E, Kimura F, Koizumi T, Komeya M, Mizunuma N, Oseto K, Ota K, Shimizu C, Sugimoto K, Takae S, Takeuchi E, Nishi H, Yumura Y, Furui T, Takai Y, Morishige KI, Watanabe C, Osuga Y, Suzuki N.	Effect of a web-based fertility preservation training program for medical professionals in Japan.	Int J Clin Oncol.	28(9)	1112-1120	2023
Hiratsuka D, Omura E, Ishizawa C, Iida R, Fukui Y, Hiraoka T, Akaeda S, Matsuo M, Harada M, Wada-Hiraike O, Osuga Y, Hirota Y.	Pregnancy is associated with reduced progression of symptomatic adenomyosis: a retrospective pilot study.	BMC Pregnancy Childbirth.	4:23(1)	634	2023
Urata Y, Salehi R, Wylie BA, Jahangiri S, Librach CL, Tzeng CR, Osuga Y, Tsang B.	Neuropeptide Y directly reduced apoptosis of granulosa cells, and the expression of NPY and its receptors in PCOS subjects.	J Ovarian Res.	16(1)	182	2023
Tsukahara Y, Nose-Ogura S, Kinoshita S, Nakamura H, Koshimizu T, Gleason CN, Mason RA, Harada M, Hiraike O, Osuga Y.	Differences in screening and treating relative energy deficiency in sport between the United States of America and Japan.	J Sports Med Phys Fitness.	64(2)	175-182	2024
Takae S, Harada M, Nakamura K, Furuyama S, Ono M, Osuga Y, Suzuki N.	Survey on the implementation status and reproductive outcomes of oocyte and ovarian tissue cryopreservation in Japan: Historical comparison with nationwide surveys.	J Obstet Gynaecol Res			2024
Kawai T, Harada M, Yamada K, Ugomori R, Osuga Y.	The prevalence of vulvovaginal symptoms in Japanese women of reproductive and perimenopausal ages: A cross-sectional study across generations.	J Obstet Gynaecol Res.			2024

Sayama S, Iriyama T, Hashimoto A, Suzuki K, Ariyoshi Y, Yano E, Toshihimitsu M, Ichinose M, Seyama T, Sone K, Kumasawa K, Hirota Y, <u>Osuga Y.</u>	Possible risks and benefits of adenomyomectomy on pregnancy outcomes: a retrospective analysis.	AJOG Glob Rep	3(4)	100265	2023
吉野修, 小野洋輔, <u>大須賀穰.</u>	【生殖内分泌学と生殖免疫学の接点】卵胞発育・排卵.	HORMON FRONTIER IN GYNECOLOGY.	30巻3号	183-187	2023
杉浦真弓, <u>大須賀穰</u> , 山本圭子, 金子佳代子	【プレコンセプションケア】プレコンセプションケアの目指すこと 現状と課題.	日本医師会雑誌	152 巻 6号	593-603	2023
<u>大須賀穰</u>	【不妊治療の保険適用に関して】不妊治療の保険適用への困難な道のりを乗り越えて.	日本産科婦人科学会雑誌	75巻3号	386-391	2023
能瀬さやか, 原田美由紀, <u>大須賀穰</u>	【保険適用になった不妊治療-できること・できないこと-】実際の運用と影響と課題 不妊診療保険適用の影響と課題	産科と婦人科	90巻4号	333-337	2023
白澤弘光、岡田英孝、沖津撰、木村正、木村直子、久慈直昭、高橋和政、高橋俊文、寺田幸弘、長谷川久隆、福永憲隆	関連4学会による胚培養士業務全国調査から得られた胚培養士業務実施率に関する検討.	日本生殖医学会雑誌	68	434	2023

こども家庭庁長官 殿

機関名 国立大学法人秋田大学

所属研究機関長 職 名 学長

氏 名 山本 文雄

次の職員の令和5年度こども家庭科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業
2. 研究課題名 標準的な生殖医療の知識啓発と情報提供のためのシステム構築に関する研究
3. 研究者名 (所属部署・職名) 大学院医学系研究科・教授
(氏名・フリガナ) 寺田 幸弘 (テラダ ユキヒロ)

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. こども家庭分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

こども家庭庁長官 殿

機関名 徳島大学

所属研究機関長 職 名 学 長

氏 名 河 村 保 彦

次の職員の令和5年度こども家庭科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業
- 研究課題名 標準的な生殖医療の知識啓発と情報提供のためのシステム構築に関する研究
- 研究者名 (所属部署・職名) 大学院医歯薬学研究部・教授
(氏名・フリガナ) 岩佐 武・イワサ タケシ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無 有 無	左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
		審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. こども家庭分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

こども家庭庁長官 殿

機関名 徳島大学

所属研究機関長 職 名 学 長

氏 名 河 村 保 彦

次の職員の令和5年度こども家庭科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業
2. 研究課題名 標準的な生殖医療の知識啓発と情報提供のためのシステム構築に関する研究
3. 研究者名 (所属部署・職名) 大学院医歯薬学研究部・教授
(氏名・フリガナ) 森岡 久尚・モリオカ ヒサヨシ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無 有 無	左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
		審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	徳島大学	<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. こども家庭分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

こども家庭庁長官 殿

機関名 徳島大学

所属研究機関長 職 名 学 長

氏 名 河 村 保 彦

次の職員の令和5年度こども家庭科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業
2. 研究課題名 標準的な生殖医療の知識啓発と情報提供のためのシステム構築に関する研究
3. 研究者名 (所属部署・職名) 蔵本ウイメンズクリニック・副院長
(氏名・フリガナ) 村上 貴美子・ムラカミ キミコ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無 有 無	左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
		審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. こども家庭分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

大阪大学医学系研究科では、厚生労働科学研究費補助金に係る承諾書等について以下のとおり取扱っております。

I. 厚生労働科学研究費補助金の研究実施承諾書・倫理審査状況及び利益相反等報告書について

本学では、厚生労働科学研究費補助事業の研究実施の承諾については、従来より研究者が所属する各部局長より行なっております。

これは「大阪大学教授会通則」第4条に基づき、各部局の教授会が各部局の教育・研究に関する重要事項の決定権を有しているため、教授会の責任者である部局長が研究実施に対する承諾権限を有しているとみなしているためです。

そのため、大阪大学医学系研究科に所属している研究者の研究実施の承諾は医学系研究科長より行っております。

同様に、倫理審査状況及び利益相反等報告書についても医学系研究科長名にて発行しております。

II. 厚生労働科学研究費補助金の管理及び経理事務委任に対する承諾書について

本学では、「厚生労働科学研究費補助金における事務委任について」（平成13年7月5日厚科第332号厚生科学課長決定（平成29年3月31日 最新版））に基づき、補助金の管理及び経理事務について、所属機関の長の責のもと、その機関において行うこととしております。

なお当該事務について、「国立大学法人大阪大学における公的研究費の取扱いに関する規程」第6条に基づき、実質的な責任と権限を持つ者として、医学系研究科長への委任及び同研究科長よりの承諾を行っております。

III. 厚生労働科学研究費補助金の受領委任に関して

本学では、「厚生労働科学研究費補助金における事務委任を行った場合の国庫補助金の受領の委任について」（平成13年10月25日厚科第472号厚生科学課長決定（令和3年1月21日 最新版））に基づき、「国立大学法人大阪大学研究費補助金取扱要項」第6条により、補助金の受領について、所属機関の長（学長）への委任及び同長よりの承諾を行っております。

【参考】大阪大学規程集 https://www.osaka-u.ac.jp/jp/about/kitei/reiki_taikei/r_taikei_01_05.html

大阪大学教授会通則

（審議事項等）

第4条 教授会は、総長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり教育研究に関する専門的な観点から意見を述べるものとする。

- (1) 学生の入学、卒業及び課程の修了に関すること。
- (2) 学位の授与に関すること。
- (3) 教育課程の編成等に関すること。
- (4) 学生の除籍及び懲戒に関すること。
- (5) 教員の人事に関すること。
- (6) 組織の長の選考及び解任に関すること。
- (7) 称号の付与に関すること。
- (8) 教育研究組織の再編に関すること。
- (9) 共同研究講座等の設置に関すること。
- (10) 諸規程の制定及び改廃に関すること。
- (11) 概算要求に関すること。

2 教授会は、前項に規定するもののほか、総長及び学部長その他の教授会が置かれる組織の長（以下この項において「総長等」という。）がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び総長等の求めに応じ、教育研究に関する専門的な観点から意見を述べることができる。

国立大学法人大阪大学における公的研究費の取扱いに関する規程 抜粋

（部局等管理責任者）

第6条 部局等（本部事務機構を含む。以下この条において同じ。）における公的研究費の運営及び管理について実質的な責任と権限を持つ者として部局等管理責任者を置き、当該部局等の長（本部事務機構にあっては、財務を担当する理事）をもって充てる。

国立大学法人大阪大学研究費補助金取扱要項 抜粋

（研究費補助金の経理事務の委任）

第6条 研究代表者等は、研究費補助金の交付内定（継続分を含む。）を受け、研究費を受領する場合は、学長にその受領を委任したものとし、経理に関する事務を所属する部局長に委任したものとみなす。

ただし、受領委任について配分機関から別途定めがある場合は、その定めにより取り扱うものとする。

こども家庭庁長官 殿

機関名 国立大学法人大阪大学

所属研究機関長 職 名 大学院医学系研究科長

氏 名 熊ノ郷 淳

次の職員の令和5年度こども家庭科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業

2. 研究課題名 標準的な生殖医療の知識啓発と情報提供のためのシステム構築に関する研究

3. 研究者名 (所属部署・職名) 大学院医学系研究科・准教授

(氏名・フリガナ) 福原 慎一郎・フクハラ シンイチロウ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. こども家庭分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。

・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

こども家庭庁長官 殿

機関名 公立大学法人福島県立医科大学

所属研究機関長 職 名 理事長

氏 名 竹之下 誠一

次の職員の令和5年度こども家庭科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業

2. 研究課題名 標準的な生殖医療の知識啓発と情報提供のためのシステム構築に関する研究

3. 研究者名 (所属部署・職名) ふくしま子ども・女性医療支援センター 教授

(氏名・フリガナ) 高橋俊文 (タカハシ トシフミ)

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. こども家庭分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

こども家庭庁長官 殿

機関名 国立大学法人東京大学

所属研究機関長 職 名 学長

氏 名 藤井 輝夫

次の職員の令和5年度こども家庭科学研究費補助金の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業

2. 研究課題名 標準的な生殖医療の知識啓発と情報提供のためのシステム構築に関する研究

3. 研究者名 (所属部署・職名) 医学部附属病院・教授

(氏名・フリガナ) 大須賀 穰・オオスガ ユタカ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. こども家庭分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

こども家庭庁長官 殿

機関名 徳島大学

所属研究機関長 職 名 学 長

氏 名 河 村 保 彦

次の職員の令和5年度こども家庭科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業
2. 研究課題名 標準的な生殖医療の知識啓発と情報提供のためのシステム構築に関する研究
3. 研究者名 (所属部署・職名) 徳島大学・特命教授
(氏名・フリガナ) 苛原 稔・イラハラ ミノル

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無 有 無	左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
		審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. こども家庭分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。